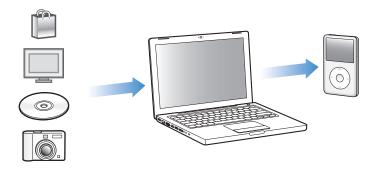
iPod classic
ユーザガイド

目次

iPod classic の基本

1

このたびは iPod classic をご購入いただき、ありがとうございます。この章では、iPod classic の機能、コントロールの使用方法などについて説明します。

iPod classic を使用するには、音楽、ビデオ、写真、およびその他のファイルをお使いのコンピュータに保存してから、iPod classic に追加します。

iPod classic は、単なる音楽用プレーヤーではありません。iPod classic は、以下の用途にも使用できます：

- 曲、ビデオ、およびデジタルフォトを同期し、持ち歩いて聴いたり見たりする
- Podcast（インターネット経由で配布される、ダウンロード可能なオーディオやビデオ番組）を聴く
- ビデオを iPod classic やテレビ（オプションのケーブルを使用）で観る
- 写真を BGM 付きスライドショーとして iPod classic で表示する、またはオプションのケーブルを使ってテレビで表示する
- iTunes Store または audible.com から購入したオーディオブックを聴く
- iPod classic を外部ディスクとして使用して、ファイルやその他のデータを保存またはバックアップする
- お使いのコンピュータのアドレスデータ、カレンダー、および To Do リストの情報を同期させる
- ゲームで遊ぶ、メモを保管する、アラームをセットする、など

iPod classic 各部の説明

iPod classic のコントロールを説明します：

iPod classic のコントロールを使用する

iPod classic のコントロールは、見つけやすく使いやすい場所にあります。iPod classic の電源を入れるときは、いずれかのボタンを押します。メインメニューが表示されます。

クリックホイールと「センター」ボタンを使用すると、画面のメニューの操作、曲の再生、設定の変更、および情報の表示を行うことができます。クリックホイール内を親指で軽く触れて動かして、メニュー項目を選択します。項目を選択するときは、「センター」ボタンを押します。前のメニューに戻るときは、クリックホイールの「メニュー」ボタンを押します。

ここでは、iPod classic のコントロールを使って実行できるその他の操作について説明します。

操作	手順
iPod classic の電源を入れる	いずれかのボタンを押します。
iPod classic の電源を切る	「再生／一時停止」（▶❙❙）ボタンを押し続けます。
バックライトを点灯する	いずれかのボタンを押すか、クリックホイールを使います。
iPod classic のコントロールを使用できないようにする （誤って操作ボタンを押してしまうのを防ぎます）	ホールドスイッチをホールドに切り替えます（オレンジ色のバーが見えます）。
iPod classic をリセットする (応答しない場合)	ホールドスイッチをホールドに設定してから、もう一度元に戻します。「メニュー」ボタンと「センター」ボタンを同時に押し、Apple ロゴが表示されるまで、6 秒以上押し続けます。
メニュー項目を選択する	目的の項目までスクロールし、「センター」ボタンを押します。
前のメニューに戻る	「メニュー」ボタンを押します。
メインメニューに直接移動する	「メニュー」ボタンを押し続けます。
曲をブラウズする	メインメニューで「ミュージック」を選択します。
ビデオをブラウズする	メインメニューで「ビデオ」を選択します。
曲やビデオを再生する	目的の曲やビデオを選択し、「センター」または「再生／一時停止」（▶❙❙）ボタンを押します。曲やビデオを再生するには、iPod classic をコンピュータから取り出す必要があります。
曲やビデオを一時停止する	「再生／一時停止」（▶❙❙）ボタンを押します。または、ヘッドフォンを外します。
音量を調節する	「再生中」の画面が表示されているときに、クリックホイールを使用します。
プレイリストまたはアルバム内のすべての曲を再生する	プレイリストまたはアルバムを選択して、「再生／一時停止」（▶❙❙）を押します。
すべての曲をランダムな順序で再生する	メインメニューで「曲をシャッフル」を選択します。「再生中」の画面が表示されているときに、曲をシャッフルすることもできます。
曲やビデオの中の好きな場所に移動する	「再生中」画面が表示されているときに、「センター」ボタンを押してスクラブバー（現在の位置を示すバー上のダイヤモンドのアイコン）を表示してから、曲またはビデオの中の好きな場所までスクロールします。
次の曲、もしくはオーディオブックや Podcast の次のチャプタに移動する	「次へ／早送り」（▶▶❙）ボタンを押します。
曲またはビデオの始めから再生する	「前へ／巻き戻し」（❙◀◀）ボタンを押します。
前の曲、もしくはオーディオブックや Podcast の前のチャプタを再生する	「前へ／巻き戻し」（❙◀◀）ボタンを 2 回押します。
曲またはビデオを早送りする／巻き戻す	「次へ／早送り」（▶▶❙）ボタンまたは「前へ／巻き戻し」（❙◀◀）ボタンを押し続けます。
その他の再生オプションを利用する	メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。
Genius プレイリストを作成する	目的の曲を再生または選択し、メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。「Genius を開始」を選択して、「センター」ボタンを押します。

操作	手順
曲を「On-The-Go」プレイリストに追加する	目的の曲を再生または選択し、メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。「On-The-Go に追加」を選択して、「センター」ボタンを押します。
iPod classic のシリアル番号を確認する	メインメニューで「設定」＞「情報」と選択して、シリアル番号が表示されるまで「センター」ボタンを押すか、iPod classic の背面を確認します。

Cover Flow を使って音楽をブラウズする

Cover Flow を使って、ライブラリをページをめくるように表示して、音楽コレクションを視覚的にブラウズできます。

Cover Flow を使用するには：

1. 「ミュージック」メニューから「Cover Flow」を選択します。
2. クリックホイールを使ってアルバムアート間を移動するか、「次へ／早送り」ボタンと「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。
3. アルバムを選択して、「センター」ボタンを押します。
4. クリックホイールを使って曲を選び、「センター」ボタンを押して再生します。

長いリストと Cover Flow をすばやくスクロールする

Cover Flow や曲、ビデオ、またはその他の項目の長いリストは、クリックホイール上ですばやく親指を動かすことで、すばやくスクロールすることができます。

参考：すべての言語が対応しているわけではありません。

すばやくスクロールするには：

1. クリックホイール上ですばやく親指を動かして、画面上にアルファベットの文字を表示します。
2. 探している項目の最初の文字が見つかるまで、クリックホイールで移動します。これで、その文字で始まるリストの最初の項目にたどり着きます。

   記号や数字で始まる項目は、文字「A」の前に表示されます。
3. 親指を一瞬離すと、通常のスクロールに戻ります。
4. クリックホイールを使って、目的の項目を見つけます。

音楽を検索する

曲、プレイリスト、アルバムタイトル、アーティスト名、オーディオ Podcast、およびオーディオブックを iPod classic で検索できます。ビデオ、メモ、カレンダー項目、アドレスデータ、および歌詞は検索されません。

参考：すべての言語が対応しているわけではありません。

iPod classic で検索するには：

1. 「ミュージック」メニューから「検索」を選択します。

2 クリックホイールでアルファベットを選び、「センター」ボタンで入力します。

最初の文字を入力すると iPod classic で検索が開始され、検索画面に結果が表示されます。たとえば、「b」と入力すると、「b」を含むすべての項目が iPod classic に表示されます。「ab」と入力すると、その文字のつながりを含むすべての項目が iPod classic に表示されます。

空白を入力するには、「次へ／早送り」ボタンを押します。

前の文字を削除するには、「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。

3 「メニュー」ボタンを押すと、結果のリストが表示され、そこから移動を開始できます。

結果のリストに、項目と共にアイコンが表示されます。このアイコンから、以下の項目のタイプが分かります：曲、ビデオ、アーティスト、アルバム、オーディオブック、または Podcast

検索に戻るには（メニューの「検索」が強調表示されている場合）、「センター」ボタンを押します。

クリックホイールの音を切る

メニュー項目をスクロールすると、iPod classic の内蔵スピーカーからクリック音が聞こえます。好みに応じて、クリックホイールの音を切ることができます。

クリックホイールの音を切るには：

- 「設定」を選択し、「クリック音」を「オフ」に設定します。

クリックホイールの音を再度入にするには、「クリック音」を「オン」に設定します。

iPod classic のコントロールを使用できないようにする

誤って iPod classic の電源が入ったり、コントロールが有効になるのを防ぐため、ホールドスイッチを使ってコントロールを一時的に使えなくすることができます。

iPod classic のコントロールを使用できないようにするには：

- ホールドスイッチをホールドに切り替えます（オレンジ色のバーが見えます）。

iPod classic のメニューを使用する

iPod classic の電源を入れると、メインメニューが表示されます。メニュー項目を選択して、機能を実行したり、ほかのメニューに移動したりします。画面の上部にあるアイコンは、iPod classic の状況を示しています。

表示項目	機能
メニュータイトル	現在のメニューのタイトルを表示します。
ロックアイコン	ロックアイコンは、ホールドスイッチ（iPod classic の上部にあります）がホールドに設定されているときに表示されます。これは、iPod classic のコントロールが使用できなくなっていることを示しています。
再生状況	曲、ビデオやその他の項目の再生中は、再生（▶）アイコンが表示されます。項目が一時停止している場合には、一時停止（❚❚）アイコンが表示されます。

表示項目	機能
バッテリー状況	バッテリーアイコンには、おおよそのバッテリー残量が表示されます。
メニュー項目	メニュー項目をスクロールするときは、クリックホイールを使います。項目を選択するときは、「センター」ボタンを押します。メニュー項目の横にある矢印は、この項目を選択すると、さらにメニューまたは画面が表示されることを示しています。

メインメニューの項目を追加する／取り除く

よく使用する項目を iPod classic のメインメニューに追加することができます。たとえば、メインメニューに曲の項目を追加すると、「ミュージック」を選択しなくても「曲」を選択できるようになります。

メインメニューの項目を追加または取り除くには：

1. 「設定」＞「メインメニュー」と選択します。
2. メインメニューに表示したい各項目を選択します。すでに追加されている項目には、チェックマークが付いています。

バックライトタイマーを設定する

ボタンを押したり、クリックホイールを使用したりしたときに、バックライトを一定の時間だけ点灯して画面を明るくするように設定できます。デフォルトは 10 秒に設定されています。

参考：バックライト照明に設定する時間を長くすると、バッテリーの性能に影響することがあります。

バックライトの点灯時間を設定するには：

- 「設定」＞「バックライト」と選択してから、自動的にバックライトを消すまでの時間を選択します。バックライトが消えないようにするには、「常にオン」を選択します。

画面の明度を設定する

スライダを動かして iPod classic の画面の明度を調整することができます。

iPod classic の画面の明るさを設定するには：

- 「設定」＞「画面の明るさ」と選択してから、クリックホイールを使ってスライダを動かします。左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと画面が明るくなります。

  スライドショーやビデオの再生中でも、明度を設定できます。明度スライダを表示したり表示を解除したりするには、「センター」ボタンを押します。

参考：画面の明るさの設定はバッテリーの性能に影響することがあります。

言語を設定する

iPod classic は、任意の言語を使用するように設定できます。

iPod classic の言語を設定するには：

- 「設定」＞「言語」と選択してから、リストから言語を選択します。

iPod classic についての情報を入手する

空き容量、保存されている曲、ビデオ、写真、その他の項目の数、シリアル番号、モデル、ソフトウェアのバージョンなど、お使いの iPod classic に関する詳しい情報を入手できます。

iPod classic についての情報を入手するには：

- 「設定」＞「情報」と選択し、「センター」ボタンを押して情報画面を切り替えます。

すべての設定をリセットする

「設定」メニューのすべての項目を、デフォルトの設定にリセットできます。

iPod classic のすべての設定をデフォルトにリセットするには：

- 「設定」＞「Reset Settings」と選択して、「Reset」を選択します。

iPod classic を接続する／接続解除する（取り外す）

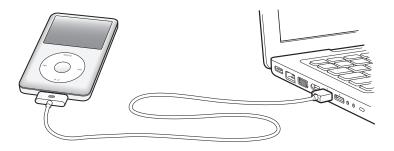
iPod classic をコンピュータに接続して、音楽、ビデオ、写真、およびファイルの追加、また、バッテリーの充電ができます。完了したら、iPod classic を取り外します。

iPod classic を接続する

iPod classic をコンピュータに接続するには：

- 同梱の USB 2.0 ケーブル用 iPod Dock コネクタをコンピュータの高電力型 USB 2.0 ポートに接続してから、もう一方の端を iPod classic に接続します。

iPod Dock を使用する場合は、コンピュータの USB 2.0 ポートにケーブルを接続し、もう一方の端を Dock に接続してから、iPod classic を Dock にセットします。

参考：多くの場合、キーボード上の USB ポートでは十分な電力が得られません。お使いのキーボードが高電力型 USB 2.0 ポートを備えているのでない限り、iPod classic をコンピュータの USB 2.0 ポートに接続する必要があります。

デフォルトの設定では、iPod classic をコンピュータに接続すると、曲が自動的に転送されます。「iTunes」を終了したら、iPod classic を取り外すことができます。

参考：バッテリーの充電中に曲を同期できます。

iPod classic を別のコンピュータに接続したときに、曲を自動的に同期するように設定されている場合は、音楽が同期される前に「iTunes」によってメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、iPod classic 上にすでにある曲およびその他のオーディオファイルが消去され、iPod classic が接続されているコンピュータ上の曲およびその他のオーディオファイルに置き換わります。iPod classic に音楽を追加する方法、および複数のコンピュータで iPod classic を使用する方法の詳細については、17 ページの第 2 章「音楽の機能」を参照してください。

iPod classic を取り外す

音楽を同期している間は、コンピュータからiPod classicを取り外さないでください。iPod classic の画面を見れば、iPod classic を取り外せるかどうかがすぐに分かります。

重要：「接続されています」または「同期中です」というメッセージが表示されているときは、iPod classic を取り外さないでください。iPod classic 上のファイルが壊れてしまう可能性があります。これらのメッセージのいずれかが表示されているときは、取り外す前に、iPod classic の取り出し操作を行う必要があります。

重要：これらのメッセージのいずれかが表示されているときは、取り外す前に、iPod classic の取り出し操作を行う必要があります。

メインメニューまたは大きいバッテリーアイコンが表示されている場合は、コンピュータから iPod classic を取り外すことができます。

曲を手動で管理するように iPod classic を設定している場合（25 ページの「iPod classic を手動で管理する」を参照）、またはディスクとして使用するように iPod classic を設定している場合は（48 ページの「iPod classic を外部ディスクとして使用する」を参照）、iPod classic を取り外す前に、必ず取り出し操作を行う必要があります。

iPod classic を取り出すには：

- 「iTunes」のソースリストのデバイスのリストで、iPod classic の横にある「取り出し」（⏏）ボタンをクリックします。

これらのメッセージのいずれかが表示されている間は、iPod classic の接続を安全に解除することができます。

Mac を使用している場合は、iPod classic のデスクトップアイコンを「ゴミ箱」にドラッグして iPod classic を取り出すこともできます。

Windows PC を使用している場合は、「マイコンピュータ」で、または Windows システムトレイで「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして iPod classic を選択することにより、iPod classic を取り外すこともできます。

iPod classic の接続を解除するには：

- iPod classic からケーブルを取り外します。iPod classic が Dock にセットされている場合は、そのまま取り外します。

Dock コネクタがこの図のものより大きい場合には、コネクタの両側を押しながら取り外してください。

iPod classic のバッテリーについて

iPod classic には、ユーザには交換できないバッテリーが内蔵されています。iPod classic を最適にお使いいただくために、はじめてお使いになるときには、ディスプレイの状況領域にあるバッテリーアイコンが完全に充電されたことを示す状態になるまで、バッテリーを 4 時間ほど充電してください。iPod classic をしばらく使用しなかった場合、バッテリーの充電が必要になることがあります。

iPod classic のバッテリーは、約 2 時間で 80% 充電されます。完全に充電するには、約 4 時間かかります。iPod classic の充電中に、ファイルの追加、音楽の再生、ビデオの表示やスライドショーの表示を行うと、さらに時間がかかることもあります。

iPod classic のバッテリーを充電する

iPod classic のバッテリーは以下の 2 つの方法で充電できます：

- iPod classic をコンピュータに接続します。
- Apple USB Power Adapter（Apple USB 電源アダプタ）を使用します（別売です）。

コンピュータを使ってバッテリーを充電するには：

- iPod classic をお使いのコンピュータの USB 2.0 ポートに接続します。コンピュータの電源が入っていて、スリープモードになっていない必要があります（一部のモデルの Mac では、スリープモードでも iPod classic を充電できます）。

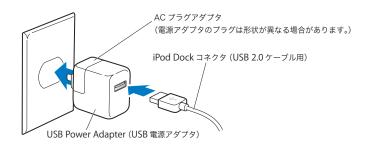
iPod classic の画面のバッテリーアイコンが「充電中」画面を表示している場合、バッテリーは充電中です。「充電済み」画面を表示している場合、そのバッテリーは完全に充電されています。

充電中の画面が表示されない場合は、iPod classic が高電力型 USB ポートに接続されていない可能性があります。コンピュータの別の USB ポートで試してください。

重要：iPod classic の画面に「充電中。お待ちください」や「電源に接続してください」というメッセージが表示される場合は、iPod classic をコンピュータと通信させる前に、バッテリーを充電する必要があります。60 ページの「iPod classic に「電源に接続してください」というメッセージが表示される場合」を参照してください。

お使いのコンピュータから離れているときに iPod classic を充電したい場合は、Apple USB Power Adapter（Apple USB 電源アダプタ）を購入してください。

Apple USB 電源アダプタを使ってバッテリーを充電するには：

1. AC プラグアダプタを電源アダプタに接続します（すでに接続されている場合もあります）。
2. USB 2.0 ケーブル用 iPod Dock コネクタを電源アダプタに接続し、ケーブルのもう一方の端子を iPod classic に接続します。
3. 電源アダプタのプラグをコンセントに差し込みます。

警告：プラグをコンセントに差し込む前に、電源アダプタが完全に組み立てられていることを確認してください。

バッテリーの状態を理解する

iPod classic を電源に接続していないときは､iPod classic の画面の右上隅のバッテリーアイコンを見れば、おおよそのバッテリー残量を確認できます。

バッテリーの充電量は 20%未満です

バッテリーは半分くらい充電されています

バッテリーは完全に充電されています

iPod classic を電源に接続すると、バッテリーアイコンが変化して、充電中であること、または完全に充電されていることを確認できます。

バッテリーは充電中です（稲妻）

バッテリーは完全に充電されています（プラグ）

完全に充電される前でも、コンピュータから取り外して、iPod classic を使用することができます。

参考 : 充電式のバッテリーに充電できる回数は限られているため､その回数を超えた場合は､バッテリーを交換する必要があります。バッテリーの寿命と充電回数は、使用方法と設定によって異なります。詳しくは、www.apple.com/jp/batteries を参照してください。

音楽の機能

2

iPod classic を使って、好きな場所に音楽およびオーディオコレクションを持ち出すことができます。この章では、音楽を追加して iPod classic で再生する方法について説明します。

iPod classic を使うときには、曲、オーディオブック、ムービー、テレビ番組、ミュージックビデオ、および Podcast をコンピュータに読み込んでから、それらを iPod classic に追加します。この操作に含まれる手順について、詳しく説明していきます：

- 音楽を手持ちの CD コレクション、ハードディスク、または iTunes Store（「iTunes」の一部で、一部の国でのみ利用可能です）から、コンピュータの「iTunes」アプリケーションに読み込みます。
- 必要に応じて、音楽やその他のオーディオを並べ替えてプレイリストを作成します。
- プレイリスト、曲、オーディオブック、ビデオ、および Podcast を iPod classic に追加します。
- 音楽やその他のオーディオを持ち歩いて聴きます。

iTunes について

「iTunes」は iPod classic と一緒に使用するソフトウェア・アプリケーションです。「iTunes」を使うと、音楽、オーディオブック、Podcast などを iPod classic と同期させることができます。iPod classic をコンピュータに接続すると、「iTunes」が自動的に開きます。

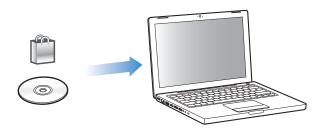
このガイドでは、「iTunes」を使って、曲やその他のオーディオをコンピュータにダウンロードする方法、お気に入りの曲のパーソナルコンピレーション（プレイリストと呼びます）を作成する方法、それらを iPod classic に追加する方法、および iPod classic の設定を調整する方法について説明します。

「iTunes」には、iPod classic 用の Genius と呼ばれる機能もあります。この機能により、iTunes ライブラリから同じテイストの曲のインスタントプレイリストが作成されます。Genius を使用するには、iTunes 8.0 以降と iTunes Store アカウントが必要です。

「iTunes」にはほかにも多くの機能があります。たとえば、標準の CD プレーヤーで再生する自分だけの CD を作成したり（コンピュータに CD-R ドライブが装備されている場合）、ストリーミング・インターネット・ラジオを聴いたり、ビデオやテレビ番組を観たり、好み応じて曲にレートを付けたりすることができます。

「iTunes」のこれらの機能の使用方法について詳しくは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」>「iTunes ヘルプ」と選択してください。

iTunes ライブラリに音楽を読み込む

iPod classic で音楽を聴くときは、まずお使いのコンピュータ上の「iTunes」にその音楽を読み込む必要があります。

「iTunes」に音楽およびその他のオーディオを読み込むには、3 つの方法があります：

- iTunes Store からオンラインで音楽、オーディオブック、およびビデオを購入したり Podcast をダウンロードしたりする。
- オーディオ CD から音楽やほかのオーディオを読み込む。
- すでにコンピュータ上にある音楽およびその他のオーディオを iTunes ライブラリに追加する。

iTunes Store を使って曲を購入する／ Podcast をダウンロードする

インターネットに接続している場合は、iTunes Store を使って、曲、アルバム、オーディオブック、およびビデオを、オンラインで簡単に購入してダウンロードできます。Podcast を登録してダウンロードすることもできます。

iTunes Store からオンラインで音楽を購入するときは、「iTunes」で Apple アカウントを設定してから、目的の曲を探して購入します。Apple アカウントをすでに持っている場合、または AOL（America Online）アカウントを持っている場合は、そのアカウントを使って iTunes Store にサインインし、曲を購入できます（このオプションは一部の国でのみ利用可能です）。

参考：Podcast をダウンロード、もしくは登録するのに、iTunes Store アカウントは必要ありません。

iTunes Store にサインインするには：

■ 「iTunes」を開いてから、次の操作を行います：

- すでに iTunes アカウントを持っている場合は、「Store」>「サインイン」と選択します。
- まだ iTunes アカウントを持っていない場合は、「Store」>「アカウントを作成」と選択し、画面上の指示に従って Apple アカウントを作成するか、既存の Apple アカウント情報または AOL アカウント情報を入力します。

曲、オーディオブック、ビデオ、および Podcast を検索するには：
iTunes Store で、目的のアルバム、曲、アーティストをブラウズまたは検索できます。「iTunes」を開き、ソースリストで「iTunes Store」を選択します。

- iTunes Store をブラウズするには、iTunes Store のメインページの左側にあるカテゴリ（「ミュージック」など）を選択します。「iTunes Store」のメインウインドウで、ジャンルを選択したり、ニューリリースを確認したり、特集されている曲のどれかをクリックしたり、「トップソング」を表示したり、「クイックリンク」の下にある「ブラウズ」をクリックしたりできます。
- Podcast をブラウズするには、iTunes Store のメインページの左側にある Podcast へのリンクをクリックします。
- ビデオをブラウズするには、iTunes Store のメインページの左側にある「ムービー」、「テレビ番組」、または「ミュージックビデオ」のリンクをクリックします。
- iTunes Store 内を検索するには、検索フィールドにアルバム、曲、アーティスト、または作曲者の名前を入力します。
- 検索結果を絞り込むときは、検索フィールドに何か入力し、キーボードの Return キーまたは Enter キーを押した後、検索結果ページの上部にある検索バー内のリンクをクリックします。たとえば、曲やアルバムで絞り込むには、「ミュージック」リンクをクリックします。
- 複数の項目を組み合わせて検索するには、「検索結果」ウインドウにある「パワーサーチ」をクリックします。
- iTunes Store のメインページに戻るには、ウインドウの上部にあるステータス行のホームボタンをクリックします。

曲、アルバム、ムービー、テレビ番組、ミュージックビデオ、またはオーディオブックを購入するには：

1 ソースリストで「iTunes Store」を選択し、購入したい項目を探します。

曲やその他の項目をダブルクリックしてその一部を試聴して、欲しい項目を確認できます。映画の予告編やテレビ番組のプレビューを表示できます。（お使いのネットワーク接続が 128 kbps よりも遅い場合は、「iTunes」＞「環境設定」（Mac OS X の場合）または「編集」＞「設定」（Windows の場合）と選択し、「Store」パネルで「再生を行う前にプレビューを完全に読み込む」チェックボックスを選択してください。）

2 「曲を購入」、「アルバムを購入」、「ムービーを購入」、「エピソードを購入」（Buy Episode）、「ビデオを購入」、または「ブックを購入」をクリックします。

一部の項目には、すべてのエピソードをまとめたシーズンパスを購入できるテレビ番組など、ほかのオプションもあります。

曲やその他の項目がコンピュータにダウンロードされ、お持ちの Apple アカウントまたは AOL アカウントで指定されているクレジットカードに請求が発生します。

Podcast をダウンロードする／登録するには：

1 ソースリストで「iTunes Store」を選択します。
2 iTunes Store のメインページの左側にある Podcast へのリンクをクリックします。
3 ダウンロードしたい Podcast をブラウズします。

- 1 つの Podcast エピソードをダウンロードするときは、エピソードの横にある「エピソードを入手」ボタンをクリックします。

- Podcast を登録するときは、Podcast アートワークの横にある「登録する」ボタンをクリックします。最も新しいエピソードが「iTunes」にダウンロードされます。インターネットに接続している場合、新しいエピソードが入手できる状態になると、それらが「iTunes」に自動的にダウンロードされます。

詳しくは、26 ページの「Podcast を iPod classic に追加する」および 33 ページの「Podcast を観る／聴く」を参照してください。

コンピュータ上の既存の曲を「iTunes」のライブラリに追加する

コンピュータ上にある曲が「iTunes」の対応しているファイル形式でエンコードされている場合は、それらの曲を「iTunes」に簡単に追加することができます。

コンピュータ上の曲を「iTunes」のライブラリに追加するには：

- オーディオファイルが含まれるフォルダまたはディスクを、「iTunes」のソースリストにある「ライブラリ」にドラッグします（または、「ファイル」＞「ライブラリに追加」と選択し、フォルダまたはディスクを選択します）。「iTunes」が曲のファイル形式に対応している場合には、「iTunes」のライブラリに曲が自動的に追加されます。

曲のファイルを個別に「iTunes」にドラッグすることもできます。

参考：Windows で「iTunes」を使用する場合は、保護されていない WMA ファイルを AAC 形式または MP3 形式に変換できます。これは、WMA 形式でエンコードされた音楽のライブラリがある場合に便利です。詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択してください。

オーディオ CD から「iTunes」に音楽を読み込む

CD から「iTunes」に音楽を読み込むには、以下の手順を行います。

オーディオ CD から「iTunes」に音楽を読み込むには：

1 コンピュータに CD を挿入し、「iTunes」を開きます。

インターネットに接続している場合は、CD に収録されている曲の名前が自動的にインターネットから取得され（取得できる場合）、ウインドウに表示されます。

インターネットに接続していない場合は、CD の内容を読み込んでから、後でインターネットに接続したときに、「詳細」＞「CD トラック名を取得」と選択します。読み込んだ CD のトラック名が取得されます。

CD トラック名をオンラインで取得できない場合は、曲の名前を手動で入力できます。詳しくは、21 ページの「曲名やその他の詳細を入力する」を参照してください。

入力された曲の情報を使って、「iTunes」または iPod 上で、タイトル、アーティスト、アルバムなどで曲をブラウズできます。

2 読み込みたくない曲がある場合は、その曲の横にあるチェックマークをクリックして外します。

3 「読み込み」ボタンをクリックします。「iTunes」ウインドウの上部の表示領域に、各曲の読み込みにかかる時間が表示されます。

参考：デフォルトでは、読み込み中に曲が再生されます。多数の曲を読み込む場合は、パフォーマンスを向上させるために曲の再生を停止することをお勧めします。

4 CD を取り出すには、「取り出し」（⏏）ボタンをクリックします。

読み込みが完了するまで、CD を取り出すことはできません。

5 ほかの CD からも曲を読み込みたい場合は、これらの手順を繰り返します。

曲名やその他の詳細を入力する

CD に収録されている曲名やその他の情報を手動で入力するには：

1 CD の最初の曲を選択し、「ファイル」＞「情報を見る」と選択します。

2 「情報」をクリックします。

3 曲の情報を入力します。

4 「次へ」をクリックして、次の曲の情報を入力します。

5 完了したら、「OK」をクリックします。

歌詞を追加する

「iTunes」に、標準テキストフォーマットで曲の歌詞を入力すると、iPod classic で曲の再生中にその曲の歌詞を表示できます。

「iTunes」に歌詞を入力するには：

1 曲を選び、「ファイル」＞「情報を見る」と選択します。

2 「歌詞」をクリックします。

3 テキストボックスに曲の歌詞を入力します。

4 「次へ」をクリックして、次の曲の歌詞を入力します。

5 完了したら、「OK」をクリックします。

詳しくは、30 ページの「歌詞を iPod classic に表示する」を参照してください。

アルバムアートワークを追加する

iTunes Store から購入した音楽には、iPod classic で表示可能なアルバムアートワークが含まれています。CD から読み込んだ音楽のアルバムアートがコンピュータに保存してあれば、アルバムワークを追加できます。

アルバムアートワークを「iTunes」に追加するには：

1 曲を選び、「ファイル」＞「情報を見る」と選択します。

2 「アートワーク」をクリックします。

3 「追加」をクリックし、アートワークファイルに移動して、「選択」をクリックします。

4 スライダを使ってアートワークのサイズを調整します。

5 「次へ」をクリックして、次の曲またはアルバムのアートワークを追加します。

6 完了したら、「OK」をクリックします。

詳しくは、31 ページの「iPod classic にアルバムアートワークを表示する」を参照してください。

音楽を整理する

「iTunes」を使用して、音楽やその他の項目を好きな方法で並べ替えて、プレイリストと呼ばれるリストを作成ができます。たとえば、運動中に聴くための曲をまとめたプレイリストや、気分に合った曲をまとめたプレイリストを作成できます。

定義したルールに基づいて自動的にアップデートされるスマートプレイリストを作成することもできます。それらの規則に一致する曲を「iTunes」に追加すると、自動的にスマートプレイリストに追加されます。

「iTunes」のライブラリに入っている曲を使って、好きなだけプレイリストを作成できます。曲をプレイリストに追加したり、後でプレイリストから削除しても、その曲がライブラリから取り除かれることはありません。

「iTunes」にプレイリストを作成するには：

1 追加（+）ボタンをクリックするか、「ファイル」＞「新規プレイリスト」と選択します。

2 プレイリストの名前を入力します。

3 「ライブラリ」リストにある「ミュージック」をクリックしてから、曲やその他の項目をプレイリストにドラッグします。

複数の曲を選択するには、Shift キーかコマンド（⌘）キー（Mac の場合）、または Shift キーか Control キー（Windows PC の場合）を押しながら、曲をクリックします。

スマートプレイリストを作成するには：

- 「ファイル」＞「新規スマートプレイリスト」と選択し、プレイリストの規則を選択します。

参考：iPod classic がコンピュータに接続されていないときに、iPod classic 上にプレイリストを作成する方法については、29 ページの「「On-The-Go」プレイリストを iPod classic に作成する」を参照してください。

「iTunes」で Genius を使用する

Genius を使って自動的に作成した曲のプレイリストを楽しむことができます。あなたの音楽コレクションや音楽の好みを分かっている DJ がいてくれるようなものです。しかも、その DJ は音楽ライブラリに埋もれているすばらしい曲を再発見するのを手伝ってくれることもあります。iPod classic で Genius を使用するには、まず「iTunes」で Genius を設定する必要があります。Genius は無料のサービスですが、iTunes Store アカウントが必要です。

はじめて Genius を使用するときに Genius を設定するには：

1 「iTunes」ウインドウの下部にある「Genius」ボタン（ ）をクリックします。

iTunes Store アカウントにサインインするように求めるメッセージが表示されます。アカウントがない場合は、画面の指示に従ってアカウントを設定してください。

2 「規約」を読んでから、同意する場合は「同意する」をクリックします。

3 画面の説明に従ってライブラリをアップロードおよびアップデートします。

ライブラリのサイズによっては、この手順に時間がかかることがあります。

4 iPod classic を接続して同期します。

iPod classic で Genius を使用できるようになりました（29 ページを参照）。

「iTunes」でGenius プレイリストを作成するには：

1 ライブラリから曲を選択し、「iTunes」ウインドウの下部にある「Genius」ボタン（ ）をクリックします。

2 Genius が入になっていない場合は、「Genius をオン」をクリックします。

選択した曲を基にしてプレイリストが作成されます。プレイリストの最大曲数はポップアップメニューから選択できます。Genius を入にすると、Genius サイドバーが有効になり、あなたが関心を持つと思われる項目が表示されます。

3 プレイリストを保存するには、「プレイリストを保存」をクリックします。選択した曲を変えずに新しいプレイリストを作成するときは、「更新」をクリックします。

「iTunes」で作成する Genius プレイリストは、iPod classic に同期できます。

「iTunes」でGenius を使用する方法について詳しくは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択してください。

音楽と Podcast を iPod classic に追加する

音楽を「iTunes」に読み込んで整理したら、iPod classic にその音楽を簡単に追加できます。

コンピュータから iPod classic に音楽を追加する方法を設定するには、iPod classic をコンピュータに接続してから、「iTunes」の環境設定を使って iPod classic の設定を変更します。

次の 3 つの方法で、iPod classic に音楽を追加するように「iTunes」を設定できます：

- すべての曲とプレイリストを同期する：iPod classic を接続すると、iTunes ライブラリの曲やその他の項目と一致するように、自動的にアップデートされます。iPod classic のその他の曲は削除されます。
- 選択したプレイリストを同期する：iPod classic を接続すると、「iTunes」で選択したプレイリストの曲と一致するように、自動的にアップデートされます。
- 音楽を手動で iPod classic に追加する：iPod classic を接続すると、曲とプレイリストを個別に iPod classic にドラッグしたり、iPod classic から曲とプレイリストを個別に削除することができます。このオプションを使うと、iPod classic から曲を消去することなく、複数のコンピュータから曲を追加できます。音楽を自分で管理する場合は、取り外す前に、必ず手動で「iTunes」から iPod classic を取り出す操作を行う必要があります。

音楽を自動的に同期させる

デフォルトでは、iPod classic をコンピュータに接続すると、すべての曲とプレイリストが自動的にアップデートされるように設定されています。iTunes ライブラリが iPod classic の容量より大きい場合は、適切な大きさのプレイリストが自動的に作成されます。この方法を利用すれば、音楽を簡単に iPod classic に追加できます。iPod classic をコンピュータに接続するだけで、曲、オーディオブック、ビデオ、およびその他の項目が自動的に追加され、接続を解除すれば再生を始めることができます。前回 iPod classic を接続した後に「iTunes」に曲を追加している場合、それらの曲は iPod classic に同期されます。「iTunes」から曲を削除している場合、それらの曲は iPod classic から削除されます。

iPod classic に音楽を同期させるには：

- iPod classic をコンピュータに接続します。自動的にアップデートするように iPod classic が設定されている場合は、アップデートが始まります。

重要：はじめて iPod classic をコンピュータに接続する場合、曲を自動的に転送するかどうかを確認するメッセージが表示されます。同意すると、iPod classic からすべての曲、オーディオブック、ビデオ、およびその他の項目が消去され、コンピュータのそれらの項目に置き換えられます。同意しなかった場合は、iPod classic 上にすでにある曲を消去することなく、曲を iPod classic に手動で追加できます。

音楽がコンピュータから iPod classic に同期されている間、「iTunes」の状況ウインドウに進行状況が表示され、ソースリストの iPod classic アイコンの横に同期アイコンが表示されます。

アップデートが完了すると、「iPod のアップデートが完了しました。」（Mac OS X の場合）または「iPod の更新が完了しました。」（Windows の場合）というメッセージが「iTunes」に表示されます。

選択したプレイリストの音楽を iPod classic に同期する

iTunes ライブラリ内の音楽の合計が iPod classic のディスク容量を超えている場合は、選択したプレイリストを iPod classic に同期するように「iTunes」を設定すると便利です。選択したプレイリストの曲だけが、iPod classic に同期されます。

選択したプレイリストの音楽を iPod classic に同期するよう「iTunes」を設定するには：

1. 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「ミュージック」タブをクリックします。
2. 「音楽を同期する」を選択してから、「選択したプレイリスト」をクリックします。
3. アップデートに使いたいプレイリストを選択します。
4. ミュージックビデオを含めたり、アルバムのアートワークを表示したりするには、それらのオプションを選択します。
5. 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある曲とビデオだけを同期」が選択されている場合は、チェックマークが付いている項目だけが同期されます。

iPod classic を手動で管理する

iPod classic を手動で管理できるように「iTunes」を設定すると、iPod classic の音楽やビデオをより柔軟に管理することができます。曲（ミュージックビデオを含む）やビデオ（ムービーとテレビ番組を含む）を個別に追加したり削除したりすることができます。また、iPod classic にすでにある項目を消去することなく、音楽やビデオを複数のコンピュータから iPod classic に追加できます。

参考：音楽とビデオを手動で管理するように iPod classic を設定すると、「ミュージック」、「ムービー」、および「テレビ番組」パネルの自動同期オプションがオフになります。ある項目を手動で管理して、別の項目を自動同期することはできません。

iPod classic の音楽とビデオを手動で管理できるように「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「概要」タブをクリックします。
2 「オプション」セクションにある「音楽とビデオを手動管理する」を選択します。
3 「適用」をクリックします。

参考：曲とビデオを自分で管理する場合は、取り外す前に、必ず手動で「iTunes」から iPod classic を取り出す操作を行う必要があります。

曲、ビデオやその他の項目を iPod classic に追加するには：

1 「iTunes」のソースリストで「ミュージック」またはその他のライブラリ項目をクリックします。
2 ソースリストにある iPod classic のアイコンに曲やその他の項目をドラッグします。

曲、ビデオやその他の項目を iPod classic から取り除くには：

1 「iTunes」を開き、ソースリストで iPod classic を選択します。
2 iPod classic の曲やその他の項目を選択し、キーボードの Delete キーまたは Backspace キーを押します。

iPod classic の曲やその他の項目を手動で削除しても、iTunes ライブラリからは削除されません。

新しいプレイリストを iPod classic で作成するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択し、追加（+）ボタンをクリックするか、「ファイル」＞「新規プレイリスト」と選択します。
2 プレイリストの名前を入力します。
3 「ライブラリ」リストにある「ミュージック」などの項目をクリックしてから、曲やその他の項目をプレイリストにドラッグします。

iPod classic 上のプレイリスト内の曲を追加または削除するには：

- 曲を追加するときは、iPod classic 上のプレイリストに曲をドラッグします。曲を削除するときは、プレイリスト内の曲を選択し、キーボードの Delete キーを押します。

音楽を手動で同期させるように「iTunes」を設定している場合でも、自動的に同期されるように後で「iTunes」を設定し直すことができます。

iPod classic に自動的にアップデートされるように「iTunes」を設定し直すには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「ミュージック」タブをクリックします。

2 「音楽を同期する」を選択してから、「すべての曲とプレイリスト」を選択します。

3 「適用」をクリックします。

自動的にアップデートが始まります。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、ミュージックライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

Podcast を iPod classic に追加する

Podcast を iPod classic に追加する設定は、曲を追加する設定とは関係ありません。Podcast をアップデートする設定は、曲をアップデートする設定に影響しません。また、その逆も同様です。すべての Podcast を自動的に同期したり、Podcast を iPod classic に手動で追加したりするように「iTunes」を設定することができます。

iPod classic の Podcast が自動的にアップデートされるように「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「Podcast」タブをクリックします。

2 「Podcast」パネルで、「次のものを同期する：」ラジオボタンを選択し、ポップアップメニューから同期したいエピソードの数を選択します。

3 「すべての Podcast」または「選択した Podcast」をクリックします。「選択した Podcast」をクリックした場合は、さらにリストの中から同期したい Podcast を選択します。

4 「適用」をクリックします。

iPod classic の Podcast を自動的に同期するように「iTunes」を設定している場合、iPod classic をコンピュータに接続するたびにアップデートされます。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、ミュージックライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

Podcast を手動で管理するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「概要」タブをクリックします。

2 「音楽とビデオを手動管理する」を選択し、「適用」をクリックします。

3 ソースリストでPodcastライブラリを選択し、追加するPodcastをiPod classicにドラッグします。

音楽を再生する

音楽とその他のオーディオを iPod classic に追加したら、再生できます。クリックホイールと「センター」ボタンを使って、聴きたい曲、オーディオブック、ビデオ、または Podcast をブラウズします。

曲をブラウズして再生するには：

- 「ミュージック」を選択し、曲を見つけ、「再生／一時停止」ボタンを押します。

参考：「ミュージック」メニューからミュージックビデオをブラウズした場合は、音楽だけが再生されます。「ビデオ」メニューからミュージックビデオをブラウズした場合は、ビデオも表示されます。

曲を再生しているときには、「再生中」画面が表示されます。次の表で、iPod classic の「再生中」画面の要素について説明します。

「再生中」画面の項目	機能
シャッフル（⤮）アイコン	iPod classic が曲またはアルバムをシャッフルするように設定されている場合に表示されます。
リピート（⟲）アイコン	iPod classic がすべての曲を繰り返し再生するように設定されている場合に表示されます。iPod classic が特定の曲を繰り返し再生するように設定されている場合には、1 曲リピートする（🔂）アイコンが表示されます。
アルバムアート	アルバムアートがある場合に、アルバムアートを表示します。
曲の情報	曲のタイトル、アーティスト、およびアルバムアートを表示します。
レート	曲にレートを付けると、星印が表示されます。
曲の番号	現在選択している一連の曲の中での、再生中の曲の番号を示しています。
曲の時間プログレスバー	再生中の曲の経過時間と残り時間を表示します。

「再生中」画面が表示されているときは、クイックホイールを使って音量を変えることができます。「再生中」画面で「センター」ボタンを何度か押すと、スクラブバー、レートドット、シャッフル設定、歌詞、Podcast 情報など、ほかの情報やオプションが表示されます。「センター」ボタンを押したままにすると、Genius プレイリストを開始したりアルバムやアーティストをブラウズしたりするためのその他のオプションが表示されます。前の画面に戻るときは、「メニュー」ボタンを押します。

スクラブバーには、現在再生している場所を示すダイヤモンドのマークが、経過時間と残り時間と共に表示されます。クリックホイールを使用してバーの菱型を移動することで、トラックの別の部分を再生できます。

アーティストまたはアルバムを基準にして曲をブラウズする

曲を聴いているときに、同じアーティストのその他の曲をブラウズしたり、現在のアルバムのすべての曲をブラウズしたりできます。

アーティストを基準にして曲をブラウズするには：

1 「再生中」画面が表示されているときに、メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。

2 「アーティストをブラウズ」を選択して、「センター」ボタンを押します。

iPod classic 上の曲からそのアーティストのその他の曲を確認します。別の曲を選択するか、「再生中」画面に戻ることができます。

アルバムを基準にして曲をブラウズするには：

1 「再生中」画面が表示されているときに、メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。

2 「アルバムをブラウズ」を選択して、「センター」ボタンを押します。

iPod classic 上の曲から現在のアルバムの別の曲を確認します。別の曲を選択するか、「再生中」画面に戻ることができます。

曲をシャッフルするよう iPod classic を設定する

曲、アルバム、またはライブラリ全体を、ランダムな順序で再生するように iPod classic を設定できます。

すべての曲をシャッフルしてから再生を開始するように iPod classic を設定するには：

- iPod classic のメインメニューから、「曲をシャッフル」を選択します。

iPod classic の音楽ライブラリ全体からランダムな順序で曲の再生が始まります。オーディオブックと Podcast はスキップします。

曲またはアルバムを常にシャッフルするように iPod classic を設定するには：

1 iPod classic のメインメニューから、「設定」を選択します。

2 「シャッフル」を「曲」または「アルバム」に設定します。

「設定」＞「シャッフル」と選択して、曲をシャッフルするように iPod classic を設定すると、iPod classic は選択したリスト（たとえばアルバムやプレイリスト）の中で曲をシャッフルします。

アルバムをシャッフルするように iPod classic を設定すると、アルバムのすべての曲が順序通り再生され、次にリスト中の別のアルバムがランダムに選択され、そのアルバムのすべての曲が順序通り再生されます。

「再生中」の画面が表示されているときにシャッフルオプションを設定するには：

- シャッフルアイコンが表示されるまで「センター」ボタンを押します。「曲」、「アルバム」、または「オフ」を選択します。

曲をリピートするよう iPod classic を設定する

iPod classic は、1 曲を何度もリピートしたり、選択したリスト内で曲をリピートするように設定できます。

曲をリピートするよう iPod classic を設定するには：

- iPod classic のメインメニューから、「設定」を選択します。
  - リスト内のすべての曲をリピートするときは、「リピート」を「すべて」に設定します。
  - 1 曲だけをリピートするように設定するときは、「リピート」を「1 曲」に設定します。

「ミュージック」メニューをカスタマイズする

メインメニューと同じように、「ミュージック」メニューに項目を追加したり、項目を削除したりできます。たとえば、「ミュージック」メニューに「コンピレーション」項目を追加すると、さまざまなソースから曲を集めたコンピレーションを簡単に選択できます。

「ミュージック」メニューの項目を追加または取り除くには：

1 「設定」＞「ミュージック」と選択します。

2 メインメニューに表示したい各項目を選択します。すでに追加されている項目には、チェックマークが付いています。元の「ミュージック」メニューの設定に戻すには、「リセット」を選択します。

iPod classic で Genius を使用する

iPod classic がコンピュータに接続されていない場合でも、Genius では同じテイストの曲のインスタントプレイリストを自動的に作成できます。Genius を使用するには、最初に iTunes Store で Genius を設定してから、iPod classic を「iTunes」に同期させる必要があります（22 ページの「「iTunes」で Genius を使用する」を参照）。Genius プレイリストを「iTunes」で作成して iPod classic に追加することもできます。

iPod classic 上で Genius プレイリストを作成するには、選択した曲が Genius によって認識され、選択した曲にテイストが似た曲が iPod classic 上に十分にある必要があります。

iPod classic で Geius プレイリストを作成するには：

1 目的の曲を選択し、メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。

メニューまたはプレイリストから曲を選択するか、「再生中」画面から開始することができます。

2 「Genius を開始」を選択して、「センター」ボタンを押します。新しいプレイリストが表示されます。

3 プレイリストを保管するには、「プレイリストを保存」を選択します。

プレイリストは、プレイリストを作成するために使用した曲のタイトルとアーティストと共に保存されます。Genius プレイリストを保存した後に、「iTunes」で編集して再度同期することもできます。

4 最初に選択した曲に基づいてプレイリストを新しいものに変更するには、「更新」を選択します。

保存したプレイリストを更新すると、以前に保存したプレイリストが新しいプレイリストに置き換わります。以前のプレイリストを回復することはできません。

Genius プレイリストを再生するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」と選択してからプレイリストを選択します。

「On-The-Go」プレイリストを iPod classic に作成する

iPod classic がコンピュータに接続されていないときに、「On-The-Go」プレイリストと呼ばれるプレイリストを iPod classic 上に作成することもできます。

「On-The-Go」プレイリストを作成するには：

1 曲を選択または再生してから「センター」ボタンを押したままにすると、メニューが表示されます。

2 「On-The-Go に追加」を選択し、「センター」ボタンを押します。

3 さらに曲を追加するには、手順 1 と 2 を繰り返します。

4 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」と選択して、曲のリストを確認し再生します。

曲のリストを追加することもできます。たとえば、アルバムを追加するときは、目的のアルバムのタイトルに移動し、アルバムのタイトルが点滅するまで「センター」ボタンを押し続けます。

「On-The-Go」プレイリスト内の曲を再生するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」と選択し、曲を選択します。

「On-The-Go」プレイリストから曲を取り除くには：

1 プレイリストで目的の曲を選択し、メニューが表示されるまで「センター」ボタンを押し続けます。

2 「On-The-Go から取り除く」を選択してから「センター」ボタンを押します。

「On-The-Go」プレイリスト全体を消去するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」＞「プレイリストを削除」と選択してから、「消去」をクリックします。

「On-The-Go」プレイリストを iPod classic に保存するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」＞「プレイリストを保存」と選択します。

最初のプレイリストが、「プレイリスト」メニューに「新規プレイリスト 1」として保存されます。「On-The-Go」プレイリストがリセットされます。プレイリストは好きな数だけ保存できます。プレイリストを保存した後は、そのリストから曲を削除することはできません。

「On-The-Go」プレイリストをコンピュータにコピーするには：

- iPod classic が曲を自動でアップデートするように設定されていて（24 ページの「音楽を自動的に同期させる」を参照）、「On-The-Go」プレイリストを作成している場合、iPod classic を接続すると「On-The-Go」プレイリストは「iTunes」に自動的にコピーされます。新しい「On-The-Go」プレイリストが「iTunes」のプレイリストの一覧に表示されます。「iTunes」のほかのプレイリストと同じようにして、その新しいプレイリストの名前の変更、編集、削除ができます。

曲にレートを付ける

曲にレートを付けて（星 1 ～ 5 つ）、曲の好みの程度を指定することができます。指定したレートは、「iTunes」でスマートプレイリストを自動作成するときに利用できます。

曲にレートを付けるには：

1 曲を再生します。

2 「再生中」画面が表示されているときに、5 つのレートドットが表示されるまで「センター」ボタンを押します。

3 クリックホイールを使って、レート（星印で表されます）を選択します。

参考：ビデオ Podcast にレートを付けることはできません。

歌詞を iPod classic に表示する

曲の歌詞を「iTunes」で入力して（21 ページの「歌詞を追加する」を参照）、その曲を iPod classic に追加すると、歌詞を iPod classic で表示することができます。

iPod classic で曲の再生中に歌詞を表示するには：

- 「再生中」画面が表示されているときに、歌詞が表示されるまで「センター」ボタンを押します。画面に歌詞が表示されます。曲の再生中にクリックホイールを使用してスクロールできます。

iPod classic にアルバムアートワークを表示する

デフォルトでは、iPod classic にアルバムアートワークが表示されるように「iTunes」が設定されています。アートワークがある場合は、アルバムリスト内に、またアルバムの曲を再生しているときに iPod classic に表示されます。

アルバムアートワークを表示するように iPod classic を設定するには：

1. 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「ミュージック」タブをクリックします。
2. 「iPod でアルバムのアートワークを表示する」を選択します。

iPod classic にアルバムアートワークを表示するには：

- アルバムアートワークのある曲を再生します。

アルバムアートワークについて詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択してください。

最大音量の制限を設定する

iPod classic の最大音量の制限を設定し、設定が変更されることを防ぐために番号を割り当てることができます。

iPod classic の最大音量の制限を設定するには：

1. 「設定」＞「音量制限」と選択します。

   音量コントロールに現在の音量が表示されます。

2. クリックホイールを使って、音量の最大値を選びます。

   「再生」ボタンを押して現在選択している曲を再生しながら、音量の最大値を選ぶこともできます。

3. 「再生／一時停止」を押して、最大音量の制限を設定します。

   設定した音量の最大値が、音量バー上に三角形で表示されます。

4. 最大音量を変更する際に番号の入力を要求しなくてもいい場合は、「メニュー」ボタンを押します。もしくは、「番号を入力」画面で、最大音量制限を変更する際に入力する必要のある番号を設定します。
5. 番号を入力するには：
   - クリックホイールを使って、番号の最初の数字を選択します。「センター」ボタンを押してその数字を確定し、次の数字に移動します。
   - 同様の方法で、番号の残りの数字も設定します。「次へ／早送り」ボタンで次の数字へ、「前へ／巻き戻し」ボタンで前の数字へ移動できます。番号の最後の数字で「センター」ボタンを押して、番号全体を確定します。

参考：曲やその他のオーディオの音量は、オーディオの録音方法またはエンコード方法によって異なることがあります。「iTunes」と iPod classic で相対音量レベルを設定する方法については、32 ページの「同じ音量レベルで曲を再生するように設定する」を参照してください。いくつかの種類のイヤフォンやヘッドフォンを使っている場合は、音量レベルもそれぞれ異なることがあります。iPod Radio Remote を除いて、iPod Dock コネクタ経由で接続しているアクセサリでは、音量制限はサポートされません。

番号を設定した場合は、最大音量の制限を変更または解除するとき、最初にその番号を入力する必要があります。

最大音量の制限を変更するには：

1 「設定」＞「音量制限」と選択します。

2 番号を設定した場合は、クリックホイールを使って数字を選んで番号を入力し、「センター」ボタンを押して確定します。

3 クリックホイールを使って、音量の最大値を変更します。

4 「再生／一時停止」ボタンを押して、変更を確定します。

最大音量の制限を解除するには：

1 現在 iPod classic で再生中の場合は、「一時停止」を押します。

2 「設定」＞「音量制限」と選択します。

3 番号を設定した場合は、クリックホイールを使って数字を選んで番号を入力し、「センター」ボタンを押して確定します。

4 クリックホイールを使って、音量バーで音量制限を最大レベルまで移動します。この操作によって、音量制限が解除されます。

5 「再生／一時停止」ボタンを押して、変更を確定します。

参考：番号を忘れてしまった場合は、iPod classic を復元して解決することができます。詳しくは、63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

同じ音量レベルで曲を再生するように設定する

「iTunes」では、同じ相対音量レベルですべての曲が再生されるように、曲の音量を自動的に調整することができます。「iTunes」の音量設定を使用するように iPod classic を設定できます。

曲が同じサウンドレベルで再生されるように「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」で、「iTunes」＞「環境設定」（Mac の場合）と選択するか、「編集」＞「設定」（Windows PC の場合）と選択します。

2 「再生」をクリックして「サウンドチェック」を選択してから、「OK」をクリックします。

「iTunes」の音量設定を使用するように iPod classic を設定するには：

- 「設定」を選択し、「音量の自動調整」を「オン」に設定します。

「iTunes」で「サウンドチェック」を選択していない場合は、iPod classic で設定しても効果はありません。

イコライザを使用する

イコライザプリセットを使用すると、特定の音楽ジャンルやスタイルに合わせて、iPod classic のサウンドを変更することができます。たとえば、ロック音楽のサウンドを良くするには、イコライザを「Rock」に設定します。

イコライザを使用して、iPod classic のサウンドを変更するには：

- 「設定」>「イコライザ」と選択し、イコライザプリセットを選択します。

「iTunes」でイコライザプリセットを曲に割り当てていて、iPod classic のイコライザが「オフ」に設定されている場合、その曲は「iTunes」の設定を使って再生されます。詳しくは、「iTunes ヘルプ」を参照してください。

Podcast を観る／聴く

Podcast は、iTunes Store で入手できる、ダウンロード可能なオーディオまたはビデオ番組です。オーディオ Podcast を聴いたり、ビデオ Podcast を観たりできます。Podcast は、番組、番組内のエピソード、およびエピソード内のチャプタによって構成されています。Podcast を観る、または聴くのを途中で止め、後で再開した場合、中断したその続きから再生されます。

Podcast を観る／聴くには：

1 メインメニューで「Podcast」を選択してから、番組を選択します。

番組は新しい順に表示されるので、最新のものから観たり聴いたりすることができます。まだ再生していない番組とエピソードの横には、青い点の印が表示されます。

2 エピソードを選択して再生します。

「再生中」画面には、番組とエピソードの情報と一緒に、経過時間と残り時間が表示されます。Podcast についての詳しい情報を見るには、「センター」ボタンを押します。Podcast にアートワークが含まれている場合は、ピクチャも表示されます。Podcast のアートワークは 1 つのエピソードの中で変えることができるため、Podcast の再生中に複数のピクチャが表示される場合があります。

視聴している Podcast にチャプタがある場合は、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押すと、Podcast の次のチャプタへ移動、または再生中のチャプタの始めへ移動します。

Podcast について詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」>「iTunes ヘルプ」と選択してください。そこで「Podcast」を検索してください。

オーディオブックを聴く

iTunes Store または audible.com からオーディオブックを購入し、ダウンロードして iPod classic で聴くことができます。

「iTunes」を使って、音楽と同じように、オーディオブックを iPod classic に追加できます。iPod classic のオーディオブックを聴くのを途中で止め、後で再開した場合、中断したその続きから再生されます。iPod classic は、シャッフルに設定されていると、オーディオブックをスキップします。

聴いているオーディオブックにチャプタがある場合は、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押すと、オーディオブックの次のチャプタへ移動、または再生中のチャプタの始めへ移動します。「再生中」画面にチャプタマーカーを表示できます。

オーディオブックは、通常より速い速度または遅い速度で再生できます。

オーディオブックの再生速度を設定するには：

- 「設定」＞「オーディオブック」と選択し、速度を選択します。

再生の速度を設定できるのは、iTunes Store または audible.com から購入したオーディオブックだけです。

FM ラジオを聴く

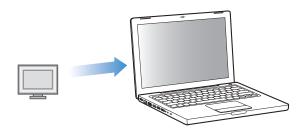
オプションの iPod classic 用 iPod Radio Remote アクセサリを使って、ラジオを聴くことができます。iPod Radio Remote は、Dock コネクタケーブルを使って iPod classic に取り付けます。iPod Radio Remote を使用しているときに、iPod classic のメインメニューに「ラジオ」メニュー項目が表示されます。詳しくは、iPod Radio Remote のマニュアルを参照してください。

ビデオの機能

3

iTunes Store からムービー、テレビ番組、およびミュージックビデオを購入したり、ムービーをレンタルしたり、ビデオ Podcast をダウンロードしたりして、それらを iPod classic に追加できます。ビデオは iPod classic または iPod classic に接続したテレビで観ることができます。この章では、ビデオをダウンロードして表示する方法について説明します。

ビデオを購入またはレンタルする／ビデオ Podcast をダウンロードする

iTunes Store（「iTunes」の一部で、一部の国でのみ利用可能です）からオンラインで、ムービー、テレビ番組やミュージックビデオなどのビデオを購入したり、ムービーをレンタルするときは、「iTunes」で Apple アカウントを設定してから、目的の曲やビデオを探して購入またはレンタルします。Apple アカウントをすでに持っている場合、または AOL（America Online）アカウントを持っている場合は、そのアカウントを使って iTunes Store にサインインし、ビデオを購入したりムービーをレンタルしたりできます（このオプションは一部の国でのみ利用可能です）。

iTunes Store にサインインするには：

- 「iTunes」を開いてから、次の操作を行います：
  - すでに iTunes アカウントを持っている場合は、「Store」＞「サインイン」と選択します。
  - まだ iTunes アカウントを持っていない場合は、「Store」＞「アカウントを作成」と選択し、画面上の指示に従って Apple アカウントを作成するか、既存の Apple アカウント情報または AOL アカウント情報を入力します。

iTunes Store でビデオをブラウズするには：

1 「iTunes」のソースリストで「iTunes Store」を選択します。
2 左側にある iTunes Store のリストで、項目（「ムービー」、「テレビ番組」、または「ミュージックビデオ」）をクリックします。

アルバムやその他のコンテンツの一部としてのミュージックビデオもあります。

「iTunes」および iTunes Store 内のビデオの横には、ディスプレイ（ ）のアイコンが表示されます。

ビデオを購入またはレンタルするには：

1 ソースリストで「iTunes Store」を選択し、購入またはレンタルしたい項目を探します。
2 「ビデオを購入」、「エピソードを購入」(Buy Episode)、「シーズンを購入」(Buy Season)、「ムービーを購入」、または「ビデオをレンタル」をクリックします。

購入したビデオは、ソースリストの「ムービー」や「テレビ番組」など（「ライブラリ」内）、または「購入したもの」（「Store」内）を選択すると表示されます。レンタルしたビデオは、「レンタルムービー」（「ライブラリ」の下にあります）を選択すると表示されます。

ビデオ Podcast をダウンロードするには：

ビデオ Podcast は、iTunes Store 内でほかの Podcast と一緒に表示されます。ビデオ Podcast もほかの Podcast と同様に、登録してダウンロードすることができます。Podcast をダウンロードするのに、iTunes Store アカウントは必要ありません。手順については 18 ページの「iTunes Store を使って曲を購入する／ Podcast をダウンロードする」を参照してください。

自分で制作／用意したビデオを iPod classic で扱えるように変換する

自分で「iMovie」（Mac 上の）を使って制作したビデオやインターネットでダウンロードしたビデオなど、ほかのビデオファイルを iPod classic で観ることができます。ビデオを「iTunes」に読み込み、必要に応じて iPod classic で使用できるように変換してから、iPod classic に追加します。

「iTunes」は、QuickTime が対応しているすべてのビデオ形式に対応しています。詳しくは、「QuickTime Player」のメニューバーから「ヘルプ」＞「QuickTime Player ヘルプ」と選択してください。

「iTunes」にビデオを読み込むには：

- iTunes ライブラリにビデオファイルをドラッグします。

ビデオによっては、「iTunes」に読み込んだ後で、iPod classic で使用できるようになるものもあります。ビデオを iPod classic に追加しようとすると（手順については 37 ページの「ビデオを自動的に同期させる」を参照してください）iPod classic では再生できないというメッセージが表示される場合は、iPod classic 再生用にビデオを変換する必要があります。

iPod classic で使用できるようにビデオを変換するには：

1 iTunes ライブラリでビデオを選択します。
2 「詳細」＞「選択項目を iPod ／ iPhone 用に変換」と選択します。

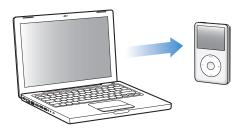
ビデオの長さと内容によって、iPod classic で使用できるように変換する処理に数分から数時間かかることがあります。

参考：iPod classic で使用できるようにビデオを変換しても、元のビデオは iTunes ライブラリに残ります。

iPod classic 用にビデオを変換する方法について詳しくは、www.info.apple.com/kbnum/n302758-ja を参照してください。

ビデオを iPod classic に追加する

「iTunes」を使って、音楽とほぼ同じ要領で、ムービーやテレビ番組を iPod classic に追加できます。iPod classic を接続したときにすべてのムービーやテレビ番組を iPod classic に自動的に同期するよう「iTunes」を設定したり、選択したプレイリストのみを同期するように「iTunes」を設定したりすることができます。または、ムービーやテレビ番組を手動で管理することができます。このオプションを使うと、iPod classic からすでにあるビデオを消去することなく、複数のコンピュータからビデオを追加できます。

参考：ミュージックビデオは「iTunes」の「ミュージック」タブ内で曲と一緒に管理されます。23 ページの「音楽と Podcast を iPod classic に追加する」を参照してください。

重要：レンタルムービーは一度に 1 つのデバイスだけで視聴できます。たとえば、iTunes Store からムービーをレンタルして iPod classic に追加した場合は、iPod classic だけで視聴できます。そのムービーを「iTunes」に戻した場合は、「iTunes」では視聴できますが、iPod classic では視聴できません。レンタル有効期限日に気をつけてください。

ビデオを自動的に同期させる

デフォルトでは、iPod classic をコンピュータに接続すると、すべてのビデオが自動的に同期されるように設定されています。この方法を利用すれば、ビデオを簡単に iPod classic に追加できます。iPod classic をコンピュータに接続するだけで、ビデオおよびその他の項目が自動的に追加され、接続を解除すれば再生を始めることができます。前回 iPod classic を接続した後に「iTunes」にビデオを追加している場合、それらのビデオは iPod classic に追加されます。「iTunes」からビデオを削除している場合、それらのビデオは iPod classic から削除されます。

iPod classic をコンピュータに接続したときに、ビデオが自動的に同期するように設定することができます。

iPod classic にビデオを同期させるには：

- iPod classic をコンピュータに接続します。自動的に同期するように iPod classic が設定されている場合は、同期が始まります。

重要：はじめて iPod classic をコンピュータに接続した場合に、自動同期が設定されていると、曲とビデオを自動的に同期するかどうかを確認するメッセージが表示されます。同意した場合は、iPod classic からすべての曲、ビデオ、およびその他の項目が削除され、そのコンピュータの iTunes ライブラリ内のすべての曲、ビデオ、およびその他の項目に置き換えられます。同意しなかった場合は、iPod classic上にすでにあるビデオを消去することなく、ビデオをiPod classic に手動で追加できます。

「iTunes」には、購入した項目を iPod classic から別のコンピュータに同期する機能があります。詳しくは、「iTunes ヘルプ」を参照してください。

ビデオがコンピュータから iPod classic に同期されている間、「iTunes」の状況ウインドウに進行状況が表示され、ソースリストの iPod classic アイコンが赤く点灯します。

アップデートが完了すると、「iPod のアップデートが完了しました。」（Mac OS X の場合）または「iPod の更新が完了しました。」（Windows の場合）というメッセージが「iTunes」に表示されます。

選択したビデオを iPod classic に同期する

iTunes ライブラリ内のビデオの合計が iPod classic のディスク容量を超えている場合は、選択したビデオを iPod classic に同期するように「iTunes」を設定すると便利です。指定したビデオだけが iPod classic に同期されます。選択したビデオ、または選択したプレイリスト（ビデオを含む）だけを同期することができます。

未再生のムービー、または選択したムービーを iPod classic に同期するよう「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「ムービー」タブをクリックします。

2 「ムービーを同期する」チェックボックスを選択します。

3 同期したいムービーまたはプレイリストを選択します。

   未再生のムービー：「未再生のムービー」ラジオボタンを選択し、ポップアップメニューから同期したい数を選択します。

   選択したムービーまたはプレイリスト：「選択した」ラジオボタンをクリックし、ポップアップメニューから「ムービー」または「プレイリスト」を選択してから、同期したいムービーまたはプレイリストを選択します。

4 「適用」をクリックします。

   参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、ムービーライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

最新のエピソード、または選択したテレビ番組を iPod classic に同期するよう「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「テレビ番組」タブをクリックします。

2 「次のものを同期する：」ラジオボタンを選択し、ポップアップメニューから同期したいエピソードの数を選択します。

3 「選択した」ラジオボタンをクリックし、ポップアップメニューから「テレビ番組」または「プレイリスト」を選択します。

4 同期したいムービーまたはプレイリストを選択します。

5 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、テレビ番組ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

ビデオを手動で管理する

iPod classic を手動で管理できるように「iTunes」を設定すると、iPod classic のビデオをより柔軟に管理することができます。ムービー、テレビ番組、およびその他の項目を個別に追加したり、削除することができます。また、すでに iPod classic 上にあるビデオを削除せずに、複数のコンピュータ上のビデオを iPod classic に追加することもできます。25 ページの「iPod classic を手動で管理する」を参照してください。

ビデオ Podcast を iPod classic に追加する

iPod classic にビデオ Podcast を追加する方法は、ほかの Podcast を追加する場合と同じです（26 ページを参照）。Podcast にビデオ構成要素が含まれる場合、「Podcast」から選択すると、ビデオが再生されます。

ムービーやテレビ番組を手動で管理するように「iTunes」を設定している場合でも、自動的に同期されるように後で「iTunes」を設定し直すことができます。iPod classic を手動で管理した後に、自動で同期するよう「iTunes」を設定すると、iTunes ライブラリには含まれていない iPod classic 上の項目は失われます。

iPod classic ですべてのムービーが自動的に同期されるように「iTunes」を設定し直すには：

1. 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「ムービー」タブをクリックします。
2. 「ムービーを同期する」を選択し、「すべてのムービー」を選択します。
3. 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、ムービーライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

iPod classic ですべてのテレビ番組が自動的に同期されるように「iTunes」を設定し直すには：

1. 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「テレビ番組」タブをクリックします。
2. 「次のものを同期する：」ラジオボタンを選択し、ポップアップメニューから「すべての」を選択します。
3. 「すべてのテレビ番組」を選択します。
4. 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、テレビ番組ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

ビデオを観る／聴く

ビデオを iPod classic で視聴することができます。アップル製の AV ケーブル（www.apple.com/jp/ipodstore から別途購入できます）を使用すると、iPod classic のビデオをテレビで観ることができます。

iPod classic でビデオを観る／聴く

iPod classic に追加するビデオは「ビデオ」メニューに表示されます。「ミュージックビデオ」も「ミュージック」メニューに表示されます。

ビデオを iPod classic で表示するには：

- 「ビデオ」を選択し、ビデオをブラウズします。

ビデオを再生して、視聴できます。

ミュージックビデオまたはビデオ Podcast のビデオを再生しないで音だけを聴くには：

- 「ミュージック」を選択し、ミュージックビデオまたはビデオ Podcast をブラウズします。

ビデオを再生すると、音声は再生されますが、画面は表示されません。

iPod classic に接続したテレビでビデオを観る

アップルの AV ケーブルをお持ちの場合は、iPod classic に接続したテレビでビデオを観ることができます。まず、ビデオをテレビに表示するように iPod classic を設定し、それから iPod classic をテレビに接続し、そしてビデオを再生します。

参考：Apple Component AV Cable、Apple Composite AV Cable、または Apple AV Connection Kit を使用してください。ほかの類似の RCA タイプのケーブルでは機能しない場合があります。AV ケーブルは、www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます。

ビデオをテレビに表示するように iPod classic を設定するには：

- 「ビデオ」＞「設定」と選択し、「TV 出力」を「確認」または「オン」に設定します。

「TV 出力」を「確認」に設定した場合は、ビデオを再生するたびに、ビデオをテレビで表示するか、または iPod classic で表示するか、iPod classic で選択できます。

フルスクリーンまたはワイドスクリーンで表示するようにビデオを設定したり、PAL または NTSC どちらの機器に表示するかに合わせてビデオを設定したりすることができます。

テレビの設定をするには：

- 「ビデオ」＞「設定」と選択し、次の手順に従います。

設定内容	手順
ビデオを NTSC または PAL のテレビで表示する	「TV 信号」を「NTSC」または「PAL」に設定します。 NTSC および PAL は、テレビ放送の規格です。お使いのテレビは、購入した地域によって、これらの規格のいずれかを使用しています。 お使いのテレビで使用している規格が分からない場合は、テレビに付属のマニュアルを確認してください。
外部テレビのフォーマットを設定する	「TV 画面」を、16:9 フォーマット用には「ワイドスクリーン」に、4:3 フォーマット用には「標準」に設定します。
ビデオを画面に合わせて表示する	「画面に合わせる」を「オン」に設定します。 「画面に合わせる」を「オフ」に設定した場合、ワイドスクリーンビデオは、iPod classic や標準（4:3）のテレビ画面上では、レターボックスフォーマットで表示されます。
音声切換で再生する	「音声切換」を「オン」に設定します。
キャプションを表示する	「キャプション」を「オン」に設定します。
字幕を表示する	「字幕」を「オン」に設定します。

Apple Component AV Cable を使って iPod classic をテレビに接続するには：

1 赤、緑、青のビデオコネクタを、テレビのコンポーネントビデオ入力（Y、Pb、Pr）端子に差し込みます。

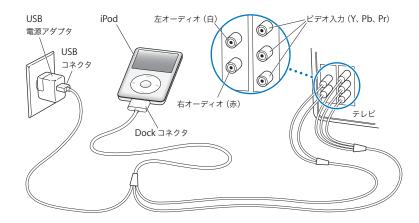
Apple Composite AV Cable も使用できます。Apple Composite AV Cable を使用する場合は、黄色のビデオコネクタをテレビのビデオ入力端子に差し込みます。テレビには、RCA のビデオポートとオーディオポートが必要です。

2 白色と赤色のオーディオコネクタを、テレビの右および左のアナログオーディオ入力端子にそれぞれ接続します。

3 iPod Dock コネクタを、お使いの iPod classic または Universal Dock に接続します。

4 USBコネクタをUSB電源アダプタまたはコンピュータに接続して、iPod classicを充電中の状態にします。

5 iPod classic の電源を入れて、テレビまたはレシーバーで再生を開始します。

iPod classic で、「TV 出力」を「オン」に設定したことを確認します。

参考：テレビまたはレシーバーのポートは、イラストに示されているポートと異なる場合があります。

テレビでビデオを表示するには：

1 iPod classic をテレビに接続します（前述を参照）。

2 テレビの電源を入れ、iPod classic を接続した入力ポートから表示するように設定します。詳しくは、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

3 iPod classic で、「ビデオ」を選択し、ビデオをブラウズします。

写真の機能

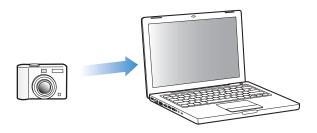
4

デジタルフォトをコンピュータに読み込んで、それらを iPod classic に追加できます。撮った写真は iPod classic で表示したり、テレビにスライドショーとして表示したりできます。この章では、写真を読み込んで表示する方法について説明します。

写真を読み込む

デジタルフォトをデジタルカメラからコンピュータに読み込み、それから iPod classic に追加して表示できます。iPod classic をテレビに接続して、写真を BGM 付きスライドショーとして表示できます。

写真をカメラからコンピュータに読み込む

写真を、デジタルカメラやメモリ・カード・リーダーから読み込めます。

「iPhoto」を使って写真を Mac に読み込むには：

1 カメラまたはメモリ・カード・リーダーをコンピュータに接続します。「iPhoto」が自動的に開かない場合は、「iPhoto」を手動で開きます（「アプリケーション」フォルダにあります）。

2 「読み込み」をクリックします。

イメージがカメラから「iPhoto」に読み込まれます。

インターネットでダウンロードしたイメージなど、その他のデジタルイメージを「iPhoto」に読み込むことができます。写真やその他のイメージの読み込みと操作について詳しくは、「iPhoto」を開き、「ヘルプ」＞「iPhoto ヘルプ」と選択してください。

「iPhoto」は、アプリケーションスイートの「iLife」の一部として www.apple.com/jp/ilife から購入できます。「iPhoto」は、お使いの Mac の「アプリケーション」フォルダにすでにインストールされている場合もあります。

「iPhoto」がない場合、「イメージキャプチャ」を使用して、写真を読み込めます。

「イメージキャプチャ」を使って写真を Mac に読み込むには：

1 カメラまたはメモリ・カード・リーダーをコンピュータに接続します。
2 「イメージキャプチャ」が自動的に開かない場合は、手動で開きます（「アプリケーション」フォルダにあります）。
3 特定の項目を読み込むときは、「一部をダウンロード」をクリックします。すべての項目をダウンロードするときは、「すべてダウンロード」をクリックします。

写真を Windows PC に読み込むには：

- お使いのデジタルカメラまたはフォトアプリケーションに付属の使用説明書に従ってください。

写真をコンピュータから iPod classic に追加する

ハードディスク上のフォルダにある写真を iPod classic に追加できます。Mac と iPhoto 4.0.3 以降をお持ちの場合、iPhoto アルバムを自動的に同期することができます。Windows PC と Adobe Photoshop Album 2.0 以降または Adobe Photoshop Elements 3.0 以降をお持ちの場合、フォトコレクションを自動的に同期することができます。

はじめて写真を iPod classic に追加する場合、フォトライブラリ内の写真の数によっては、しばらく時間がかかる場合があります。

フォトアプリケーションを使って、iPod classic に Mac または Windows PC からの写真を同期するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「写真」タブをクリックします。
2 「写真の同期元：」を選択します。
   - Mac の場合は、ポップアップメニューから「iPhoto」を選択します。
   - Windows PC の場合は、ポップアップメニューから「Photoshop Album」または「Photoshop Elements」を選択します。

参考：「Photoshop Album」および「Photoshop Elements」のバージョンによっては、コレクションに対応していません。その場合でも、それらのバージョンを使ってすべての写真を追加することはできます。

3 すべての写真を追加したい場合は、「すべての写真とアルバム」を選択します。写真をイベント別に整理した状態に保ちたい場合は、「イベント」ラジオボタンを選択し、ポップアップメニューからオプションを選択します。特定のアルバムだけから写真を追加したい場合は、「選択したアルバム」を選択し、目的のアルバムを選択します。

4 「適用」をクリックします。

iPod classic をコンピュータに接続するたびに、写真が自動的に同期されます。

写真をハードディスク上のフォルダから iPod classic に追加するには：

1 目的のイメージをコンピュータ上のフォルダにドラッグします。

イメージを iPod classic 上の別のフォトアルバムに表示したい場合は、メインのイメージフォルダ内にフォルダを作成し、イメージをそれらの新しいフォルダにドラッグします。

2 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「写真」タブをクリックします。

3 「写真の同期元：」を選択します。

4 ポップアップメニューから「フォルダを選択」を選択し、イメージのフォルダを選択します。

5 「適用」をクリックします。

写真を iPod classic に追加するときに、「iTunes」は写真を表示用に最適化します。フル解像度のイメージファイルは、デフォルトの設定では転送されません。フル解像度のイメージファイルの追加は、たとえばコンピュータ間でイメージを移動したい場合には便利ですが、iPod classic 上で最高品質でイメージを表示するためには必要ありません。

フル解像度のイメージファイルを iPod classic に追加するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「写真」タブをクリックします。

2 「フル解像度の写真を含める」を選択します。

3 「適用」をクリックします。

「iTunes」は、フル解像度の写真を iPod classic の「Photos」フォルダにコピーします。

iPod classic の写真を削除するには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「写真」タブをクリックします。

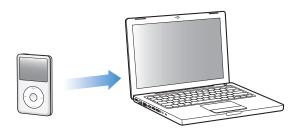
2 「写真の同期元：」を選択します。

- Mac の場合は、ポップアップメニューから「iPhoto」を選択します。
- Windows PC の場合は、ポップアップメニューから「Photoshop Album」または「Photoshop Elements」を選択します。

3 「選択したアルバム」を選択し、iPod classic 上では必要なくなったアルバムを選択解除します。

4 「適用」をクリックします。

写真を iPod classic からコンピュータに追加する

前述の手順で、コンピュータからiPod classicにフル解像度の写真を追加した場合は、iPod classicの「Photos」フォルダに写真が保存されます。iPod classic をコンピュータに接続して、これらの写真をコンピュータに追加できます。iPod classic をディスクとして使用するように設定しておく必要があります（48 ページの「iPod classic を外部ディスクとして使用する」を参照)。

写真を iPod classic からコンピュータに追加するには：

1 iPod classic をコンピュータに接続します。

2 iPod classic の「Photos」フォルダまたは「DCIM」フォルダから、コンピュータのデスクトップまたは写真編集アプリケーションに、イメージファイルをドラッグします。

参考：「iPhoto」などの写真編集アプリケーションを使って、「Photos」フォルダに保存された写真を追加することもできます。詳しくは、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

iPod classic の「Photos」フォルダから写真を削除するには：

1 iPod classic をコンピュータに接続します。

2 iPod classic の「Photos」フォルダを開き、必要なくなった写真を削除します。

写真を表示する

iPod classic では、写真を手動で表示したり、スライドショーとして表示したりできます。アップル製のオプションの AV ケーブル（Apple Component AV Cable など）をお持ちの場合は、iPod classic をテレビに接続して、写真を BGM 付きスライドショーとして表示できます。

写真を iPod classic に表示する

写真を iPod classic に表示するには：

1 iPod classic で、「写真」>「すべての写真」と選択します。または、「写真」を選択し、フォトアルバムを選択して、アルバム内の写真だけを表示します。写真のサムネールが表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

2 フルスクリーンのバージョンで表示するときは、目的の写真に移動し、「センター」ボタンを押します。

写真を表示する画面になっているときに、クリックホイールを使って写真をスクロールします。次の画面または前の画面の写真を表示するときは、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。ライブラリ内またはアルバム内の最後または最初の写真を表示するときは、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押し続けます。

スライドショーを表示する

スライドショーは、iPod classic で表示でき、BGM とトランジションを選ぶこともできます。アップル製のオプションの AV ケーブルをお持ちの場合は、スライドショーをテレビで表示することもできます。

スライドショーを設定するには：

- 「写真」＞「設定」と選択し、次の手順に従います：

設定内容	手順
各スライドの再生時間	「スライドの再生時間」を選択し、時間を選びます。
スライドショー中に再生する音楽	「ミュージック」を選択し、プレイリストを選びます。「iPhoto」を使用している場合、「iPhoto から」を選択して、「iPhoto」の音楽設定をコピーできます。再生されるのは、iPod classic に追加した曲だけです。
スライドをリピートする	「リピート」を「オン」に設定します。
スライドをランダムな順序で表示する	「写真をシャッフル」を「オン」に設定します。
スライドをトランジションで表示する	「トランジション」を選択し、トランジションのタイプを選択します。
スライドショーを iPod classic に表示する	「TV 出力」を「確認」または「オフ」に設定します。
スライドショーをテレビに表示する	「TV 出力」を「確認」または「オン」に設定します。 「TV 出力」を「確認」に設定した場合は、スライドショーを開始するたびに、スライドショーをテレビで表示するか、または iPod classic で表示するか、iPod classic で選択できます。
スライドを NTSC または PAL のテレビで表示する	「TV 信号」を「NTSC」または「PAL」に設定します。 PAL および NTSC は、テレビ放送の規格です。お使いのテレビは、購入した地域によって、これらの規格のいずれかを使用しています。 お使いのテレビで使用している規格が分からない場合は、テレビに付属のマニュアルを確認してください。

スライドショーを iPod classic で表示するには：

- 写真、アルバム、またはロールを選択し、「再生／一時停止」ボタンを押します。または、全画面の写真を選択し、「センター」ボタンを押します。一時停止するには、「再生／一時停止」ボタンを押します。次の写真または前の写真を表示するには、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。

iPod classic をテレビに接続するには：

1 オプションの Apple Component AV ケーブルまたは Apple Composite AV ケーブルを iPod classic に接続します。

参考：Apple Component AV Cable、Apple Composite AV Cable、または Apple AV Connection Kit を使用してください。ほかの類似の RCA タイプのケーブルでは機能しません。AV ケーブルは、www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます。

2 ビデオコネクタおよびオーディオコネクタをテレビのポートに接続します（41 ページのイラストを参照）。

テレビには、RCA のビデオポートとオーディオポートが必要です。

テレビでスライドショーを表示するには：

1 iPod classic をテレビに接続します（前述を参照）。

2 テレビの電源を入れ、iPod classic を接続した入力ポートから表示するように設定します。詳しくは、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

3 iPod classic で、写真またはアルバムを選択して、「再生／一時停止」ボタンを押します。または、全画面の写真を選択し、「センター」ボタンを押します。一時停止するには、「再生／一時停止」ボタンを押します。次の写真または前の写真を表示するには、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。

「写真」＞「設定」＞「ミュージック」でプレイリストを選択した場合、スライドショーを開始するとそのプレイリストが自動的に再生されます。テレビに写真が表示され、「スライドショー」＞「設定」メニューでの設定に従って自動的に進んでいきます。

その他の機能とアクセサリ

5

iPod classic でできるのは曲の再生だけではありません。音楽を聴く以外に、さまざまな使いかたができます。

この章では、外部ディスク、アラーム、スリープタイマーとして使用したり、世界の他の都市の日時を表示したり、メモを表示したり、アドレスデータ、カレンダー、To Do リストを同期する方法など、iPod classic のその他の機能について説明します。iPod classic をストップウォッチとして使用する方法、画面のロック、および iPod classic 用のアクセサリについて学習しましょう。

iPod classic を外部ディスクとして使用する

iPod classic を外部ディスクとして使用して、データファイルを保存できます。

参考：iPod classic に音楽やその他のオーディオまたはビデオファイルを追加するときは、「iTunes」を使う必要があります。たとえば、「iTunes」を使って追加した曲は、Mac の「Finder」や Windows の「エクスプローラ」上では見えません。同様に、Mac の「Finder」または Windows の「エクスプローラ」を使って音楽ファイルを iPod classic にコピーしても、それらの音楽ファイルは iPod classic では再生できません。

iPod classic を外部ディスクとして使用するには：

1. 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「概要」タブをクリックします。
2. 「オプション」セクションにある「ディスクとして使用する」を選択します。
3. 「適用」をクリックします。

iPod classic を外部ディスクとして使用すると、Mac では、デスクトップに iPod classic のディスクアイコンが表示されます。Windows PC では、Windows の「エクスプローラ」に、次に利用できるドライブ文字を使ってディスクアイコンが表示されます。

参考：「概要」をクリックし、「オプション」セクションの「音楽とビデオを手動で管理する」を選択した場合も、iPod classic を外部ディスクとして使用できるようになります。ファイルをコピーするには、ファイルを iPod classic へ、もしくは逆にコピー先へドラッグします。

iPod classic を主にディスクとして使用する場合、iPod classic を接続したときに、「iTunes」が自動的に開かないようにすることができます。

コンピュータに iPod classic を接続したときに「iTunes」が自動的に開かないようにするには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「概要」タブをクリックします。

2 「オプション」セクションにある「この iPod の接続時に iTunes を開く」の選択を解除します。

3 「適用」をクリックします。

その他の設定を使用する

iPod classic で、日付と時刻、異なる時間帯の時計、およびアラームとスリープ機能を設定することができます。iPod classic をストップウォッチとして使用したり、ゲームで遊んだり、iPod classic の画面をロックしたりすることができます。

日時を設定する／表示する

お使いのコンピュータに iPod classic を接続したとき、日付と時刻はコンピュータを使って自動的に設定されますが、設定を自分で変更することもできます。

日付と時刻のオプションを設定するには：

1 「設定」＞「日付と時刻」と選択します。

2 次のオプションから 1 つ、もしくは複数を選択します：

操作	手順
日付を設定する	「日付」を選択します。選択した値を変更するには、クリックホイールを使います。次の値に移動するときは、「センター」ボタンを押します。
時刻を設定する	「時刻」を選択します。選択した値を変更するには、クリックホイールを使います。次の値に移動するときは、「センター」ボタンを押します。
時間帯を設定する	「時間帯」を選択し、クリックホイールを使って別の時間帯の都市を選択します。
夏時間をオン／オフする	「夏時間」を選択し、「センター」ボタンを押して「夏時間」のオンとオフを切り替えます。
時刻を 24 時間表示にする	「24 時間時計」を選択し、「センター」ボタンを押して、24 時間表示のオンとオフを切り替えます。
タイトルバーに時間を表示する	「時刻表示」を選択し、「センター」ボタンを押してオプションのオンとオフを切り替えます。

ほかの時間帯の時計を追加する

ほかの時間帯の時計を追加するには：

1 「エクストラ」＞「世界時計」と選択します。

2 「世界時計」の画面で、「センター」ボタンを押して、「追加」を選択します。

3 地域、そして都市を選びます。

追加した時計がリストに表示されます。最後に追加した時計は、リストの最後に表示されます。

時計を削除するには：

1 「エクストラ」＞「世界時計」と選択します。

2 時計を選びます。

3 「削除」を選択します。

アラームを設定する

iPod classic 上のどの時計にもアラームを設定できます。

iPod classic を時計のアラームとして使用するには：

1 「エクストラ」＞「アラーム」と選択します。

2 「アラームを作成」を選択して、次のオプションから 1 つ、もしくは複数を設定します：

操作	手順
アラームをオンにする	「アラーム」を選択してから、「オン」を選びます。
時刻を設定する	「時刻」を選択します。選択した値を変更するには、クリックホイールを使います。次の値に移動するときは、「センター」ボタンを押します。
日付を設定する	「日付」を選択します。選択した値を変更するには、クリックホイールを使います。次の値に移動するときは、「センター」ボタンを押します。
音を選ぶ	「音色」またはプレイリストを選択します。「音色」を選択した場合、「ビープ音」を選ぶと内蔵スピーカーからアラームが聞こえます。プレイリストを選択した場合、アラームが聞こえるようにするには、iPod classic をスピーカーまたはヘッドフォンに接続する必要があります。
リピートのオプションを設定する	「リピート」を選択して、オプション（「平日」など）を選択します。
アラームに名前を付ける	「ラベル」を選択して、オプション（「起床」など）を選択します。

アラームを削除するには：

1 「エクストラ」＞「アラーム」と選択します。

2 アラームを選択して、「削除」を選択します。

スリープタイマーを設定する

指定した時間の間音楽またはその他のコンテンツを再生した後、iPod classic の電源が自動的に切れるように設定することができます。

スリープタイマーを設定するには：

1 「エクストラ」＞「アラーム」と選択します。

2 「スリープタイマー」を選択し、スリープするまでに iPod classic で再生する時間を選びます。

ストップウォッチを使用する

運動トレーニングで時間を計測したり、トラックを走る際にラップタイムを取るときなどに、ストップウォッチを使用できます。ストップウォッチを使用している間でも音楽を再生できます。

ストップウォッチを使用するには：

1 「エクストラ」＞「タイム計測」と選択します。

2 「再生／一時停止」ボタンを押して、タイマーを開始します。

3 「センター」ボタンを押して、ラップタイムを記録します。総時間の下にラップタイムが 3 つまで表示されます。

4 「再生／一時停止」ボタンを押して総時間タイマーを停止するか、「再開」を選択してタイマーを再び開始します。

5 新しいストップウォッチセッションを開始するには、「新たな計測」を選択します。

参考：ストップウォッチを開始した後は、タイマー画面を表示している限り、ストップウォッチは動き続けます。ストップウォッチを開始した後で別のメニューに移動した場合、iPod classic で音楽やビデオを再生中でない場合は、数分後にストップウォッチのタイマーが停止し、iPod classic が自動的にオフになります。

ログされたストップウォッチセッションを表示する／削除するには：

1 「エクストラ」＞「タイム計測」と選択します。

現在のログおよび保存されたセッションのリストが表示されます。

2 ログを選択してセッションの情報を表示します。

ストップウォッチのセッションは、日付、時刻、およびラップの統計が iPod classic に記録されます。セッションを開始した日付と時刻、セッションの総計時間、最短、最長、平均ラップタイム、および最新順のラップタイムが表示されます。

3 「センター」ボタンを押し、「ログの削除」を選択して選択したログを削除するか、「ログを削除」を選択してすべての現在のログを削除します。

ゲームで遊ぶ

iPod classic には以下の 3 つのゲームが内蔵されています：iQuiz、Klondike、および Vortex

ゲームで遊ぶには：

- 「エクストラ」＞「ゲーム」と選択し、ゲームを選択します。

追加のゲームを iTunes Store（一部の国でのみ利用可能です）から購入して、iPod classic でプレイすることができます。「iTunes」でゲームを購入したら、自動的に同期して、または手動で管理して、iPod classic に追加できます。

ゲームを購入するには：

1 「iTunes」のソースリストで「iTunes Store」を選択します。

2 「iTunes Store」のリストから「iPod ゲーム」（iPod Games）を選択します。

3 購入したいゲームを選択して「ゲームを購入」をクリックします。

iPod classic にゲームを自動的に同期させるには：

1 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択し、「ゲーム」タブをクリックします。

2 「ゲームを同期する」を選択します。

3 「すべてのゲーム」または「選択したゲーム」をクリックします。「選択したゲーム」をクリックした場合は、同期したいゲームも選択します。

4 「適用」をクリックします。

iPod classic の画面をロックする

iPod classic を許可なく他人が使用するのを防ぐために、番号によるロックを設定することができます。コンピュータに接続していない iPod classic をロックする場合、番号を入力して、ロックを解除して使用する必要があります。

参考：これは、「ホールド」ボタンを入にすることによって、誤って iPod classic のボタンが押されるのを防ぐこととは異なります。他人が iPod classic を使用するのを、番号によって防ぐことができます。

iPod classic に番号を設定するには：

1 「エクストラ」＞「画面のロック」と選択します。

2 「新しい番号」画面で、番号を入力します：

- クリックホイールを使って、番号の最初の数字を選択します。「センター」ボタンを押してその数字を確定し、次の数字に移動します。
- 同様の方法で、番号の残りの数字も設定します。「次へ／早送り」ボタンで次の数字へ、「前へ／巻き戻し」ボタンで前の数字へ移動できます。キーの最後の位置で「センター」ボタンを押します。

3 「番号を確認」画面で、番号を入力して確定するか、「メニュー」ボタンを押して画面をロックせずに戻ります。

完了したら、「画面のロック」画面に戻ります。ここで、画面をロックしたり、番号をリセットしたりできます。画面をロックせずに戻るときは、「メニュー」ボタンを押します。

iPod classic の画面をロックするには：

- 「エクストラ」＞「画面のロック」＞「ロック」と選択します。

番号の設定を完了した直後の場合には、画面上で「ロック」が選択されています。iPod をロックするには、「センター」ボタンを押します。

画面がロックされると、カギのピクチャが表示されます。

参考：メインメニューに「画面のロック」メニュー項目を追加すると、すぐに iPod classic の画面をロックすることができます。10 ページの「メインメニューの項目を追加する／取り除く」を参照してください。

画面にカギが表示されている場合は、次の 2 通りの方法で iPod classic の画面をロック解除できます：
- 「センター」ボタンを押して、iPod classic に番号を入力します。クリックホイールを使って数字を選び、「センター」ボタンを押して確定します。間違った番号を入力した場合は、ロックされたままになります。もう一度試してください。
- 主に一緒に使用するコンピュータに iPod classic を接続すると、iPod classic は自動的にロックを解除します。

参考：これらの方法を試しても iPod classic のロックを解除できない場合、iPod classic を復元することができます。63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

すでに設定した番号を変更するには：
1 「エクストラ」＞「画面のロック」＞「リセット」と選択します。
2 「番号を入力」画面で、現在の番号を入力します。
3 「新しい番号」画面で、新しい番号を入力および確定します。

参考：現在の番号を思い出せない場合は、iPod classic ソフトウェアを復元しないと、現在の番号を消去して新しい番号を入力することはできません。63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

アドレスデータ、カレンダー、および To Do リストを同期する

アドレスデータ、カレンダーのイベント、To Do リストを iPod classic に保存すれば、どこでも確認することができます。

Mac OS X v10.4 以降を使用している場合は、「iTunes」を使って「アドレスブック」のアドレスデータおよび「iCal」のカレンダー情報を iPod classic と同期させることができます。10.4 より前のバージョンの Mac OS X を使用している場合は、「iSync」を使って情報を同期させることができます。「iSync」を使って情報を同期させるには、iSync 1.1 以上、および iCal 1.0.1 以上が必要です。

Windows XP を使用していて、Windows のアドレス帳または Microsoft Outlook 2003 以降を使ってアドレスデータの情報を保存している場合は、「iTunes」を使って iPod classic 上のアドレスブックの情報を同期させることができます。Microsoft Outlook 2003 以降を使ってカレンダーを管理している場合は、カレンダー情報も同期させることができます。

Mac OS X v10.4 以降で、アドレスデータまたはカレンダー情報を同期するには：
1 iPod classic をコンピュータに接続します。
2 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「アドレスデータ」タブをクリックします。
3 次のいずれかを行います：
- アドレスデータを同期するには、「アドレスデータ」セクションにある「アドレスブックのアドレスデータを同期する」を選択し、オプションを選択します：
  - すべてのアドレスデータを自動的に同期する場合は、「すべてのアドレスデータ」を選択します。
  - 選択したアドレスデータグループを自動的に同期する場合は、「選択したグループ」をクリックし、同期したいグループを選びます。

- アドレスデータの写真がある場合、iPod classic にコピーするには「アドレスデータの写真を含める」を選択します。

「適用」をクリックすると、指定した「アドレスブック」のアドレスデータ情報を使用して iPod classic がアップデートされます。

- カレンダーを同期するには、「カレンダー」セクションにある「iCal カレンダーを同期する」を選択し、オプションを選択します：
  - すべてのカレンダーを自動的に同期する場合は、「すべてのカレンダー」を選択します。
  - 選択したカレンダーを自動的に同期する場合は、「選択したカレンダー」を選択し、同期したいカレンダーを選びます。

「適用」をクリックすると、指定したカレンダー情報を使用して iPod classic がアップデートされます。

v10.4 より前のバージョンの Mac OS X で、Mac と「iSync」を使ってアドレスデータおよびカレンダー情報を同期するには：

1. iPod classic をコンピュータに接続します。
2. 「iSync」を開き、「デバイス」＞「デバイスの追加」と選択します。この手順を実行する必要があるのは、iPod classic で「iSync」をはじめて使用するときだけです。
3. iPod classic を選択し、「今すぐ同期」をクリックします。「iSync」によって、「iCal」および Mac OS X の「アドレスブック」の情報が iPod classic に読み込まれます。

次回 iPod classic を同期するときは、「iSync」を開いて「今すぐ同期」をクリックするだけで読み込むことができます。また、iPod classic を接続したときに自動的に同期するように設定することもできます。

参考：「iSync」によって、コンピュータの情報が iPod classic に同期されます。iPod classic の情報をコンピュータに同期させることはできません。

Windows のアドレス帳または Windows 用 Microsoft Outlook を使用して、アドレスデータまたはカレンダー情報を同期するには：

1. iPod classic をコンピュータに接続します。
2. 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「アドレスデータ」タブをクリックします。
3. 次のいずれかを行います：
   - アドレスデータを同期するには、「アドレスデータ」セクションにある「次の場所からアドレスデータを同期」を選択し、ポップアップメニューから「Windows アドレス帳」または「Microsoft Outlook」を選びます。次に、同期したいアドレスデータの情報を選択します。
   - Microsoft Outlook のカレンダーを同期するには、「カレンダー」セクションにある「Microsoft Outlook からカレンダーを同期する」を選択します。
4. 「適用」をクリックします。

アドレスデータやカレンダー情報を手動で iPod classic に追加することもできます。iPod classic を外部ディスクとして使用するように設定しておく必要があります（48 ページの「iPod classic を外部ディスクとして使用する」を参照）。

アドレスデータを手動で追加するには：

1 iPod classic をコンピュータに接続し、お使いのメールアプリケーションまたはアドレスデータアプリケーションを開きます。「Palm Desktop」、「Microsoft Outlook」、「Microsoft Entourage」、「Eudora」などのアプリケーションを使って、アドレスデータを追加できます。

2 アプリケーションのアドレスブックから、iPod classic の「Contacts」フォルダにアドレスデータをドラッグします。

場合によっては、アドレスデータを書き出してから、書き出したファイルを「Contacts」フォルダにドラッグする必要があります。お使いのメールアプリケーションまたはアドレスデータアプリケーションのマニュアルを参照してください。

重要な予定やカレンダーのイベントを手動で追加するには：

1 標準の iCal 形式（ファイル名の最後に「.ics」が付きます）または vCal 形式（ファイル名の最後に「.vcs」が付きます）を使用する予定表アプリケーションから、予定表のイベントを書き出します。

2 書き出したファイルを iPod classic の「Calendars」フォルダにドラッグします。

参考：To Do リストを手動で iPod classic に追加するには、それらをカレンダーファイル（拡張子に「.ics」または「.vcs」が付きます）として保存します。

iPod classic にアドレスデータを表示するには：

- 「エクストラ」＞「連絡先」と選択します。

アドレスデータを姓または名前で並べ替えるには：

- 「設定」＞「並べ替え」と選択し、「センター」ボタンを押して、「名」または「姓」を選択します。

カレンダーのイベントを表示するには：

- 「エクストラ」＞「カレンダー」と選択します。

To Do リストを表示するには：

- 「エクストラ」＞「カレンダー」＞「To Do」と選択します。

メモを保存する／読む

iPod classic を外部ディスクとして使用するように設定している場合は、テキストメモを保存して読むことができます（48 ページを参照）。

1 ワードプロセッサアプリケーションで、書類をテキスト（.txt）ファイルとして保存します。

2 それらのファイルを iPod classic の「Notes」フォルダに入れます。

メモを表示するには：

- 「エクストラ」＞「メモ」と選択します。

ボイスメモを録音する

オプションの Apple Earphones with Remote and Mic またはオプションの iPod classic 互換マイクロフォン（www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます）を使用して、ボイスメモを録音することができます。ボイスメモを iPod classic に格納して、使用しているコンピュータに同期させることができます。ボイスメモの音質は「低」または「高」に設定できます。

参考：ボイスメモは 2 時間を超えることはできません。2 時間を超えて録音する場合は、iPod classic は自動的に新しいボイスメモを開始して、録音を続けます。

ボイスメモを録音するには：

1 Apple Earphones with Remote and Mic を iPod classic に接続するか、マイクロフォンを iPod classic の Dock コネクタポートに接続します。

「ボイスメモ」項目がメインメニューに表示されます。

2 録音を開始するには、「ボイスメモ」＞「録音を開始」と選択します。

3 Apple Earphones with Remote and Micを身に付けて話すか、口から10cmほど離れたところにマイクロフォンを持ち、話します。録音を一時停止するには、「再生／一時停止」ボタンを押します。

録音を続けるには、「再開」を選択します。

4 完了したら、「停止して保存」を選択します。保存した録音内容が、録音日時順に表示されます。

録音した内容を再生するには：

- 「エクストラ」＞「ボイスメモ」と選択し、再生したい録音を選択します。

参考：iPod classic に一度もマイクロフォンまたは Apple Earphones with Remote and Mic を接続したことがない場合は、「ボイスメモ」メニューは表示されません。

ボイスメモをコンピュータに同期させるには：

ボイスメモは iPod の「ボイスメモ」アプリケーションに WAV ファイル形式で保存されています。iPod classic をディスクとして使用する場合は、ボイスメモをフォルダからドラッグしてコピーできます。

iPod classic が曲を自動で同期するように設定されている状態で（24 ページの「音楽を自動的に同期させる」を参照）ボイスメモを録音すると、iPod classic を接続したときに、ボイスメモは「iTunes」のプレイリストに自動で同期されます（そして iPod classic からは削除されます）。新しいボイスメモプレイリストがソースリストに表示されます。

iPod classic のアクセサリについて学習する

iPod classic にはいくつかのアクセサリが付属しています。そのほかにも、www.apple.com/jp/ipodstore から、さまざまなアクセサリを購入できます。

iPod classic のアクセサリは、www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます。

次のアクセサリを購入できます：

- iPod Radio Remote
- Apple Universal Dock
- Apple Component AV Cable（Apple コンポーネント AV ケーブル）
- Apple Composite AV Cable（Apple コンポジット AV ケーブル）
- Apple USB Power Adapter（Apple USB 電源アダプタ）
- Apple Earphones with Remote and Mic（Apple イヤフォン（リモコンとマイク付属））
- Apple In-Ear Headphones with Remote and Mic（Apple インイヤー式ヘッドフォン（リモコンとマイク付属））
- World Travel Adapter Kit（ワールドトラベルアダプタキット）
- Leather Case for iPod classic（iPod classic 用レザーケース）
- iPod Socks（iPod ソックス）
- iPod Earphones（iPod イヤフォン）
- スピーカー、ヘッドセット、ケース、カーステレオ用アダプタ、電源アダプタなどの他社製アクセサリ

iPod classic に付属のイヤフォンを使用するには：

- イヤフォンをヘッドフォンポートにつなぎます。そして、図のようにイヤーバッドを耳に挿入します。

警告：ハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを大音量で使用すると、聴覚を損なうおそれがあります。大音量で再生を続けていると、耳が慣れ、通常の音量のように聴こえることがありますが、聴覚が損なわれている可能性があります。耳鳴りがする場合や話がよく聞こえない場合は、聴くのを中止して、聴力検査を受けてください。音量が大きい程、聴覚に影響を受けるまでの時間が早くなります。聴覚の専門家は、次のような方法で聴覚を保護することを勧めています：

- 大音量でハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを使用する時間を制限します。
- 周囲の騒音を遮断する目的で、音量を上げることを避けます。
- 近くで人が話す声が聞こえない場合には、音量を下げます。

iPod の最大音量の制限を設定する方法については、31 ページの「最大音量の制限を設定する」を参照してください。

ヒントとトラブルシューティング

6

iPod classic で発生した問題のほとんどは、この章のアドバイスに従ってすばやく解決できます。

5 つの「R」：リセット（Reset）、再試行（Retry）、再起動（Restart）、再インストール（Reinstall）、復元（Restore）

iPod classic で問題が起こった場合、これら 5 つの基本的な提案を思い出してください。問題が解決するまで、これらのステップを 1 つずつお試しください。もし下記のどれでも解決しない場合には、特定の問題の解決法の個所を読んでください。

- リセット：iPod classic をリセットします。下記の「一般的な提案」を参照してください。
- 再試行：「iTunes」に iPod classic が表示されない場合、別の USB ポートで再度試してみます。
- 再起動：コンピュータを再起動し、最新のソフトウェア・アップデートをインストールしていることを確認します。
- 再インストール：Web にある最新バージョンの「iTunes」ソフトウェアを再インストールします。
- 復元：iPod classic を復元します。63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

一般的な提案

iPod classic で発生した問題のほとんどは、本体をリセットすることで解決できます。まず、iPod classic が充電されていることを確認します。

iPod classic をリセットするには：

1. ホールドスイッチのオン／オフを切り替えます（ホールドスイッチをホールドに設定してから、もう一度元に戻します）。
2. 「センター」ボタンと「メニュー」ボタンを同時に押し、Apple ロゴが表示されるまで、6 秒以上押し続けます。

iPod classic の電源が入らない／動かない

- ホールドスイッチがホールドに設定されていないことを確認します。

- iPod classic のバッテリーの再充電が必要な場合もあります。iPod classic をコンピュータ、または Apple USB 電源アダプタに接続して、バッテリーの再充電をします。iPod classic の画面に稲妻のアイコンが表示されていることを確認し、iPod classic が充電されていることを確認します。

  バッテリーを充電するには、iPod classic をコンピュータの USB 2.0 ポートに接続します。お使いのキーボードが高電力型 USB 2.0 ポートを備えているのでない限り、iPod classic をキーボードの USB ポートに接続してもバッテリーは充電されません。

- iPod classic が反応するまで、「5 つの R」を、1 つずつ試します。

iPod classic を取り外したいが「接続されています」または「同期中です」というメッセージが表示されている

- iPod classic が音楽を同期中の場合は、同期が完了するまでお待ちください。
- 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択し、取り出し（⏏）ボタンをクリックします。
- iPod classic が「iTunes」のソースリストのデバイスのリストから消えたのに、iPod classic 画面には「接続されています」または「同期中です」のメッセージが表示されたままの場合は、気にせず iPod classic を取り外してください。
- iPod classic が「iTunes」のソースリストのデバイスのリストから消えない場合は、iPod classic のデスクトップアイコンを「ゴミ箱」にドラッグします（Mac の場合）。Windows PC をお使いの場合は、「マイコンピュータ」でデバイスを取り出すか、システムトレイで「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして iPod classic を選択します。それでも「接続されています」または「同期中です」のメッセージが表示されたままの場合は、コンピュータを再起動してもう一度 iPod classic を取り出してください。

iPod classic で音楽を再生できない

- ホールドスイッチがホールドに設定されていないことを確認します。
- ヘッドフォンのコネクタがしっかりと差し込まれていることを確認します。
- 音量が正しく調節されていることを確認します。最大音量制限が設定されている可能性があります。「設定」＞「音量制限」と選択すれば、制限を変更または解除できます。31 ページの「最大音量の制限を設定する」を参照してください。
- iPod classic が一時停止の状態になっている可能性があります。「再生／一時停止」ボタンを押してみます。
- iTunes 8.0 以降を使用していることを確認します（www.apple.com/jp/ipod/start にアクセスしてください）。これより前のバージョンの「iTunes」を使って iTunes Store から購入した曲は、「iTunes」をアップグレードしないと、iPod classic で再生されません。
- iPod Universal Dock を使用する場合は、必ず iPod classic を Dock にしっかりと固定し、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。

iPod classic をコンピュータに接続しても何も起こらない場合

- www.apple.com/jp/ipod/start にある最新版の「iTunes」ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。
- お使いのコンピュータの別の USB ポートに接続してみてください。

参考：iPod classic の接続には、USB 2.0 ポートの使用をお勧めします。USB 1.1 は、USB 2.0 に比べてかなり低速です。お使いの Windows PC に USB 2.0 ポートがない場合でも、USB 2.0 カードを購入して取り付けることができる場合があります。
詳しくは、www.apple.com/jp/ipod を参照してください。

- iPod classic のリセットが必要な可能性があります（58 ページを参照）。
- USB 2.0 ケーブル用の iPod Dock コネクタを使ってノートコンピュータに iPod classic を接続する場合は、iPod classic を接続する前にノートコンピュータを電源コンセントに接続します。
- お使いのコンピュータとソフトウェアがシステム条件に合っていることを確認します。62 ページの「システム条件を再確認したい場合」を参照してください。
- ケーブルの接続を確認します。ケーブルを両方の本体から外し、USB ポートに異物が入り込んでいないことを確認します。確認後、ケーブルをもう一度しっかりとつなぎ直します。ケーブルのコネクタが正しい向きであることを確認します。正しい向きでしか差し込めません。
- コンピュータを再起動してみます。
- 上記のいずれの方法でも問題が解決しない場合は、iPod classic ソフトウェアを復元する必要がある可能性があります。63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

iPod classic に「電源に接続してください」というメッセージが表示される場合

このメッセージは、iPod classic のバッテリーの電力が非常に不足していて、iPod classic をコンピュータと通信させる前にバッテリーを充電する必要がある場合に表示されます。バッテリーを充電するには、iPod classic をコンピュータの USB 2.0 ポートに接続します。

メッセージが消えて、「iTunes」内または Finder 上に iPod classic が表示されるまで、iPod classic をコンピュータに接続したままにします。それまでに消費されていたバッテリーの電力量によっては、起動するまでに、最大で 30 分間 iPod classic の充電が必要になることがあります。

iPod classic をより速く充電するには、オプションの Apple USB 電源アダプタを使用します。

参考：お使いのキーボードが高電力型 USB 2.0 ポートを備えているのでない限り、iPod classic をキーボードの USB ポートに接続してもバッテリーは充電されません。

iPod classic に「iTunes」を使って復元するメッセージが表示される場合

- お使いのコンピュータに最新版の「iTunes」ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（www.apple.com/jp/ipod/start からダウンロードできます）。
- iPod classic をコンピュータに接続します。「iTunes」が開いたら、画面のプロンプトに従って iPod classic を復元します。
- iPod classic を復元しても問題が解決しない場合は、iPod classic は修理が必要な可能性があります。修理は iPod サービス＆サポートの Web サイトで申し込めます：
www.apple.com/jp/support/ipod

USB 2.0 での曲またはデータの同期が遅い

- iPod classic のバッテリーが少ないときに USB2.0 を使って大量の曲やデータを同期する場合、iPod classic はバッテリーの電力消費を抑えるため、情報の同期スピードが低下します。

- 同期速度を上げたい場合は、同期をいったん停止し、iPod classic を接続したまま充電するか、オプションの iPod USB 2.0 Power Adapter（電源アダプタ）に接続します。そのまま iPod classic を約 1 時間充電し、それから音楽やデータの同期を再開します。

iPod classic に曲やその他の項目を追加できない

iPod classic が対応していない形式でその曲がエンコードされている可能性があります。iPod classic は次のオーディオファイルの形式に対応しています。これらはオーディオブックおよび Podcast 用の形式を含みます：

- AAC（M4A、M4B、M4P、最大 320 kbps）
- Apple ロスレス（高品質の圧縮形式）
- MP3（最大 320 kbps）
- MP3 可変ビットレート（VBR）
- WAV
- AA（audible.com の format 2、3、および 4 の朗読ファイル）
- AIFF

Apple ロスレス形式を使ってエンコードした曲のサウンド品質は CD と同等ですが、使用する容量は AIFF 形式または WAV 形式を使ってエンコードした曲の約半分で済みます。AAC 形式または MP3 形式でエンコードした場合は、さらに少ない容量で済みます。「iTunes」を使用して CD から音楽を読み込む場合、デフォルトで AAC 形式に変換されます。

Windows で「iTunes」を使用する場合は、保護されていない WMA ファイルを AAC 形式または MP3 形式に変換できます。これは、WMA 形式でエンコードされた音楽のライブラリがある場合に便利です。

iPod classicは、WMA、MPEG Layer 1、MPEG Layer 2のオーディオファイル、またはaudible.com の format 1 には対応していません。

「iTunes」に iPod classic が対応していない曲がある場合は、iPod classic が対応している形式に変換できます。詳しくは、「iTunes ヘルプ」を参照してください。

iPod classic に「この曲では“Genius”を使用できません」というメッセージが表示される

「iTunes」で Genius を有効にしていないか、または「iTunes」で Genius を有効にしてから iPod classic を同期していません。詳しくは、22 ページまたは「iTunes ヘルプ」を参照してください。

iPod classic に「選択中の曲では Genius は使用できません」というメッセージが表示される

Genius は有効になっていますが、選択した曲を認識して Genius プレイリストを開始できません。新しい曲は iTunes Store Genius データベースに定期的に追加されます。後でもう一度試してください。

iPod classic を理解できない言語に誤って設定してしまった場合

言語をリセットできます。

1. メインメニューが表示されるまで「メニュー」ボタンを押し続けます。
2. 6 番目のメニュー項目（「設定」）を選択します。

3 最後のメニュー項目（「Reset Settings」）を選択します。

4 左のメニュー項目（「Reset」）を選択し、言語を選択します。

iPod classic のその他の設定（曲のリピートなど）もリセットされます。

参考：iPod classic のメインメニューの項目を追加したり取り除いたりした場合（10 ページの「メインメニューの項目を追加する／取り除く」を参照）、「設定」メニュー項目が違う場所にある場合があります。もし「Reset Settings」メニュー項目が見つけられない場合は、iPod classic をオリジナルの状態に復元して、理解できる言語を選ぶことができます。63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

テレビにビデオまたは写真が表示されない

- iPod classic をテレビに接続する場合、Apple Component AV ケーブルまたは Apple Composite AV ケーブルなどの、iPod classic 専用に製造された RCA タイプのケーブルを使用する必要があります。ほかの類似の RCA タイプのケーブルでは機能しません。
- テレビが正しい入力ソースのイメージを表示するように設定されていることを確認します（詳細は、テレビに付属のマニュアルを参照してください）。
- すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します（40 ページの「iPod classic に接続したテレビでビデオを観る」を参照）。
- Apple Composite AV Cable の黄色の端子がテレビのビデオ端子に接続されていることを確認します。
- ビデオを観る場合は、「ビデオ」＞「設定」と移動し、「TV 出力」を「オン」に設定してからもう一度試します。スライドショーを観る場合は、「写真」＞「スライドショー設定」と移動し、「TV 出力」を「オン」に設定してからもう一度試します。
- それでも何も起こらない場合は、「ビデオ」＞「設定」（ビデオの場合）、または「写真」＞「設定」（スライドショーの場合）と移動し、お持ちのテレビの種類に応じて、「TV 信号」を「PAL」または「NTSC」に設定します。両方の設定を試してみてください。

システム条件を再確認したい場合

iPod classic を使うには、次のものが必要です：

- 次のコンピュータ構成のいずれか：
  - USB 2.0 ポートを搭載した Mac
  - USB 2.0 または USB 2.0 カードを搭載した Windows PC
- 次のオペレーティングシステムのいずれか：
  - Mac OS X v10.4.11 以降
  - Windows Vista
  - Windows XP（Home または Professional）の Service Pack 3 以降
- iTunes 8.0 以降（「iTunes」は www.apple.com/jp/ipod/start からダウンロードできます）

お使いの Windows PC に高電力型 USB 2.0 ポートがない場合は、USB 2.0 カードをご購入いただいて取り付けることができます。ケーブルおよび互換性のある USB カードについて詳しくは、www.apple.com/jp/ipod を参照してください。

Mac の場合、写真やアルバムを iPod classic に追加するには、iPhoto 4.0.3 以降をお勧めします。このソフトウェアはオプションです。お使いの Mac に「iPhoto」がすでにインストールされている場合もあります。「アプリケーション」フォルダを確認してください。「iPhoto 4」をお持ちの場合は、アップルメニュー（ ）＞「ソフトウェア・アップデート」と選択して、アップデートすることができます。

Windows PC の場合、iPod classic では、Adobe Photoshop Album 2.0 以降および Adobe Photoshop Elements 3.0 以降（www.adobe.co.jp から入手できます）から自動的にフォトコレクションを同期できます。このソフトウェアはオプションです。

Mac と Windows PC の両方で、コンピュータのハードディスク上のフォルダから、iPod classic にデジタルフォトを同期することができます。

iPod classic を Mac と Windows PC で使う場合

現在 iPod classic を Mac で使っていて、今後は Windows PC で使いたい場合は、PC で使えるように、iPod ソフトウェアを復元する必要があります（63 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照）。iPod ソフトウェアを復元すると、すべての曲を含むすべてのデータが iPod classic から消去されます。

iPod classic のデータをすべて消去せずに、Mac で使用している iPod classic を Windows PC で使用するように切り替えることはできません。

iPod classic の画面をロックしたが解除できない

通常は、使用権限のあるコンピュータに iPod classic を接続することができる場合、iPod classic は自動的にロックを解除します。お使いの iPod classic と使用する権限のあるコンピュータがない場合には、iPod classic をほかのコンピュータに接続し、「iTunes」を使用して iPod ソフトウェアを復元できます。詳しくは、次のセクションを参照してください。

画面ロックの番号を変更したいけれど、現在の番号を思い出せない場合は、iPod ソフトウェアを復元してから、新たに番号を設定する必要があります。

iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する

「iTunes」を使用して、iPod ソフトウェアをアップデートする／復元することができます。iPod classic をアップデートして、最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。また、ソフトウェアを復元することもできます。復元した場合には、iPod classic はオリジナルの状態に戻ります。

- アップデートを選んだ場合は、ソフトウェアがアップデートされますが、お使いの設定と曲は影響を受けません。
- 復元を選んだ場合は、曲、ファイル、アドレスデータ、写真、カレンダー情報、その他のデータなど、すべてのデータが iPod classic から消去されます。iPod classic の設定はすべてオリジナルの状態に復元されます。

iPod classic をアップデートする／復元するには：

1 お使いのコンピュータがインターネットに接続していることと、最新版の「iTunes」ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（www.apple.com/jp/ipod/start からダウンロードできます）。

2 iPod classic をコンピュータに接続します。

3 「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択して、「概要」タブをクリックします。

「バージョン」セクションで、iPod classic が最新の状態か、新しいバージョンのソフトウェアが必要かを確認します。

4 「アップデート」（Mac OS X の場合）または「更新」（Windows の場合）をクリックして、最新バージョンのソフトウェアをインストールします。

5 必要な場合は、「復元」をクリックして iPod classic をオリジナルの設定に戻します（これにより iPod classic のすべてのデータが消去されます）。画面の説明に従って復元操作を完了します。

安全にお使いいただくための注意点と清掃方法

7

以下に記載されている、アップルの iPod の安全性および取り扱いに関する重要な情報をお読みください。

傷を避けるため、iPod をお使いになる前に、以下の安全性に関する指示、および操作方法をよくお読みください。

「iPod 安全ガイド」およびお使いの iPod のユーザガイドは、いつでも参照できる場所に保管しておいてください。

安全性に関する重要な情報

警告：以下の安全性に関する指示を守らないと、火災、感電、その他の負傷や損害を招くおそれがあります。

適切な取り扱い：iPod を曲げたり、落としたり、ぶつけたり、穴を開けたり、燃やしたり、開けたりしないでください。

水中や水気のある場所、湿気の多い場所：雨の中や洗面台の近くなど、液体のある場所で iPod を使用しないでください。iPod に食べ物や液体をこぼさないよう注意してください。iPod を濡らしてしまった場合は、すべてのケーブルを取り外し、iPod の電源を切って、ホールドスイッチ（ある場合）をホールドの位置に切り替えてから、水気を拭き取ってください。完全に乾くまで、電源は入れないでください。

iPod の修理：iPod を自分で修理しようとしないでください。iPod には、お使いの方がご自身で修理できる部品はありません。修理に関する情報については、「iTunes」の「ヘルプ」メニューから「iPod ヘルプ」を選択するか、www.apple.com/jp/support/ipod を参照してください。iPod 内の充電式バッテリーの交換は、必ずアップル正規サービスプロバイダに依頼してください。バッテリー交換サービスについて詳しくは、www.apple.com/jp/support/ipod/service/battery を参照してください。

Apple USB 電源アダプタ（別売）：Apple USB 電源アダプタ（www.apple.com/jp/ipodstore で別途購入できます）を使って iPod を充電する場合は、コンセントに差し込む前に、電源アダプタが完全に組み立てられていることを確認してください。確認後、Apple USB 電源アダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。濡れた手で Apple USB 電源アダプタを抜き差ししないでください。また、iPod を充電するときは、アップルの iPod 電源アダプタ以外の電源アダプタは使用しないでください。

iPod USB 電源アダプタは、通常の使用中でも熱くなることがあります。常に、iPod USB 電源アダプタの周りには十分な換気空間を設けるようにし、電源アダプタに触れる際には十分に注意してください。

以下のいずれかの場合には、iPod USB 電源アダプタをコンセントから抜いてください：

- 電源コードまたはプラグが擦り切れたり損傷したりした場合。
- アダプタが、雨、液体、または過度の湿気にさらされた場合。
- アダプタのケースが損傷した場合。
- アダプタを修理する必要があると思われる場合。
- アダプタを清掃する場合。

聴覚の損傷：ハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを大音量で使用すると、聴覚を損なうおそれがあります。音量は適切なレベルに設定してください。大音量で再生を続けていると、耳が慣れ、通常の音量のように聴こえることがありますが、聴覚が損なわれている可能性があります。耳鳴りがする場合や話がよく聞こえない場合は、聴くのを中止して、聴力検査を受けてください。音量が大きい程、聴覚に影響を受けるまでの時間が早くなります。聴覚の専門家は、次のような方法で聴覚を保護することを勧めています：

- 大音量でハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを使用する時間を制限します。
- 周囲の騒音を遮断する目的で音量を上げることを避けます。
- 近くで人が話す声が聞こえない場合には、音量を下げます。

iPod classic の最大音量の制限を設定する方法については、31 ページの「最大音量の制限を設定する」を参照してください。

ヘッドフォンを安全に使用する：乗り物を運転しながらのイヤフォンの使用は、大変危険です。乗り物を運転しながらイヤフォンを使用することを制限する法規制を確認および順守してください。自動車の運転中は特に注意してください。乗り物の運転やその他注意が必要な作業を行っているときに、オーディオデバイスの再生によって注意力が妨げられると感じたときは、オーディオデバイスを聴くのを中止してください。

発作、失神、および目の疲れ：ゲームをプレイしたりビデオを視聴したりするときなどに、閃光や点滅にさらされると、人によっては病歴がなくても失神や発作を起こしやすくなることがあります。発作や失神を起こしたことがある場合、またはそれらの症状の病歴を持つ人が家族にいる場合は、iPod classic でゲーム（利用できる場合）をプレイしたりビデオを視聴したりする前に、医師に相談してください。以下の症状が起きた場合は使用を中止し、医師の診察を受けてください：発作、目や筋肉のけいれん、意識の喪失、不随意運動、または見当識障害など。失神、発作、および目の疲れを起こす危険性を少なくするために、長時間使用することは避け、iPod classic を目から少し離して持ち、照明が十分な部屋で iPod classic を使用し、頻繁に休憩を取るようにしてください。

反復動作：iPod classic でゲームをプレイするなどの反復動作をすると、手、腕、肩、首、体のその他の部分に違和感を覚えることがあります。休憩を頻繁に取るようにしてください。使用中または使用後に違和感がある場合は、使用を中止して医師に相談してください。

取り扱いに関する重要な情報

注意：以下の取り扱いに関する指示を守らないと、iPod またはその他の部品の損傷を招くおそれがあります。

iPod を持ち運ぶ：iPod には、ハードディスクドライブなど、精密部品が内蔵されています。iPod を曲げたり、落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。iPod をかすり傷などから保護したい場合は、市販のケースを別途購入して、使用することができます。

コネクタとポートを使用する：コネクタは、ポートに無理に押し込まないでください。ポートに障害物がないか確認してください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、それらの形状が一致していない可能性があります。コネクタとポートの形状が一致していることを確認し、ポートに対して正しい向きでコネクタを差し込んでください。

適切な温度の範囲内で iPod を扱う：iPod は、温度が 0°C ～ 35°C（32°F ～ 95°F）に保たれた場所で使用してください。低温の状態では、iPod の再生時間が一時的に短くなることがあります。

iPod は、温度が -20°C ～ 45°C（-4°F ～ 113°F）に保たれた場所に保管してください。駐車した車の中の温度はこの範囲を超えることがあるので、iPod を車の中に置いたままにしないでください。

iPod の使用中またはバッテリーの充電中は、iPod がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。iPod の外装には、装置内部の熱を外部の空気で冷却する機能があります。

iPod の外側を清掃する：iPod を清掃するときは、すべてのケーブルを取り外し、iPod の電源を切って、ホールドスイッチ（ある場合）をホールドの位置に切り替えてください。その後、柔らかくけば立たない布を水で湿らせて使用してください。開口部に水が入らないように注意してください。iPod を清掃するために、窓ガラス用洗剤、家庭用洗剤、スプレー式の液体クリーナー、有機溶剤、アルコール、アンモニア、研磨剤は使用しないでください。

iPod を適切に廃棄する：iPod の適切な廃棄方法、およびその他の法規制の順守に関する重要な情報については、69 ページの「法規制の順守に関する情報」を参照してください。

その他の情報、サービス、サポート

8

オンスクリーンヘルプおよびインターネットで、iPod classic の詳しい使いかたを調べることができます。

次の表には、iPod 関連のソフトウェアとサービスに関する詳しい情報の参照先をまとめてあります。

知りたい内容	手順
サービスとサポート情報、ディスカッション、チュートリアル、およびアップルのソフトウェアダウンロード	次を参照してください：www.apple.com/jp/support/ipod
「iTunes」を使用する	「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択します。「iTunes」のオンラインチュートリアル（一部の地域でのみ利用可能です）については、次にアクセスしてください：www.apple.com/jp/support/itunes
「iPhoto」を使用する（Mac OS X の場合）	「iPhoto」を開き、「ヘルプ」＞「iPhoto ヘルプ」と選択します。
「iSync」を使用する（Mac OS X の場合）	「iSync」を開き、「ヘルプ」＞「iSync ヘルプ」と選択します。
「iCal」を使用する（Mac OS X の場合）	「iCal」を開き、「ヘルプ」＞「iCal ヘルプ」と選択します。
iPod classic の最新情報	次を参照してください：www.apple.com/jp/ipod
iPod classic のユーザ登録をする	iPod classic のユーザ登録を行うには、お使いのコンピュータに「iTunes」をインストールし、iPod classic を接続します。
iPod classic のシリアル番号を確認する	iPod classic の背面を確認するか、「設定」＞「情報」と選択して、「センター」ボタンを押します。または、iPod classic をコンピュータに接続しているときに、「iTunes」のソースリストで iPod classic を選択し、「設定」タブをクリックしてください。
保証サービスを受ける	まず、この冊子、オンスクリーンヘルプ、およびオンライン参考情報の指示に従ってください。それから、次にアクセスしてください：www.apple.com/jp/support/ipod/service

法規制の順守に関する情報

FCC Compliance Statement

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or TV reception is suspected.

Radio and TV Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and TV reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or TV reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the TV or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the TV or radio.
- Move the computer farther away from the TV or radio.
- Plug the computer in to an outlet that is on a different circuit from the TV or radio. (That is, make certain the computer and the TV or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple Authorized Service Provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/TV technician for additional suggestions.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple Inc. could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product was tested for EMC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components.

It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, TV sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple Authorized Reseller. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance.

Responsible party (contact for FCC matters only):
Apple Inc. Corporate Compliance
1 Infinite Loop M/S 26-A
Cupertino, CA 95014-2084

Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

Korea Class B Statement

B급 기기(가정용 방송통신기기)

이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Russia

ME67

European Community

中国

有毒或有害物质	零部件			
	电路板	显示屏	电池	附件
铅 (Pb)	X	X	O	X
汞 (Hg)	O	O	O	O
镉 (Cd)	O	O	O	O
六价铬 (Cr, VI)	O	O	O	O
多溴联苯 (PBB)	O	O	O	O
多溴二苯醚 (PBDE)	O	O	O	O

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

根据中国电子行业标准 SJ/T11364-2006 和相关的中国政府法规，本产品及其某些内部或外部组件上可能带有环保使用期限标识。取决于组件和组件制造商，产品及其组件上的使用期限标识可能有所不同。组件上的使用 期限标识 优先于产品 上任何与 之相冲突 的或不同的环保使用期限标识。

廃棄とリサイクルに関する情報

お使いの iPod を廃棄する際は、地域法および条例に従って適切に処分してください。この製品にはバッテリーが内蔵されているため、家庭廃棄物とは分けて廃棄する必要があります。お使いの iPod が製品寿命に達した場合は、リサイクルの方法についてアップルまたは地方自治体にお問い合わせください。

アップルのリサイクルプログラムについては、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/recycling

Deutschland: Dieses Gerät enthält Batterien. Bitte nicht in den Hausmüll werfen. Entsorgen Sie dieses Gerätes am Ende seines Lebenszyklus entsprechend der maßgeblichen gesetzlichen Regelungen.

Nederlands: Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.

China:

警告： 不要刺破或焚烧。该电池不含水银。

Taiwan:

警告：請勿戳刺或焚燒。此電池不含汞。

廢電池請回收

European Union—Disposal Information:

This symbol means that according to local laws and regulations your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.

Union Européenne—informations sur l'élimination
Le symbole ci-dessus signifie que vous devez vous débarasser de votre produit sans le mélanger avec les ordures ménagères, selon les normes et la législation de votre pays. Lorsque ce produit n'est plus utilisable, portez-le dans un centre de traitement des déchets agréé par les autorités locales. Certains centres acceptent les produits gratuitement. Le traitement et le recyclage séparé de votre produit lors de son élimination aideront à préserver les ressources naturelles et à protéger l'environnement et la santé des êtres humains.

Europäische Union—Informationen zur Entsorgung
Das Symbol oben bedeutet, dass dieses Produkt entsprechend den geltenden gesetzlichen Vorschriften und getrennt vom Hausmüll entsorgt werden muss. Geben Sie dieses Produkt zur Entsorgung bei einer offiziellen Sammelstelle ab. Bei einigen Sammelstellen können Produkte zur Entsorgung unentgeltlich abgegeben werden. Durch das separate Sammeln und Recycling werden die natürlichen Ressourcen geschont und es ist sichergestellt, dass beim Recycling des Produkts alle Bestimmungen zum Schutz von Gesundheit und Umwelt beachtet werden.

Unione Europea—informazioni per l'eliminazione
Questo simbolo significa che, in base alle leggi e alle norme locali, il prodotto dovrebbe essere eliminato separatamente dai rifiuti casalinghi. Quando il prodotto diventa inutilizzabile, portarlo nel punto di raccolta stabilito dalle autorità locali. Alcuni punti di raccolta accettano i prodotti gratuitamente. La raccolta separata e il riciclaggio del prodotto al momento dell'eliminazione aiutano a conservare le risorse naturali e assicurano che venga riciclato in maniera tale da salvaguardare la salute umana e l'ambiente.

Europeiska unionen—uttjänta produkter
Symbolen ovan betyder att produkten enligt lokala lagar och bestämmelser inte får kastas tillsammans med hushållsavfallet. När produkten har tjänat ut måste den tas till en återvinningsstation som utsetts av lokala myndigheter. Vissa återvinningsstationer tar kostnadsfritt hand om uttjänta produkter. Genom att låta den uttjänta produkten tas om hand för återvinning hjälper du till att spara naturresurser och skydda hälsa och miljö.

iPod classic のバッテリーの交換と廃棄

iPod classic 内の充電式バッテリーの交換は、必ずアップル正規サービスプロバイダに依頼してください。バッテリー交換サービスについては、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/support/ipod/service/battery

お使いの iPod classic が製品寿命に達した場合は、廃棄およびリサイクルの方法について地方自治体にお問い合わせください。最寄りの Apple Retail Store（Apple Store 直営店）に持ち込まれるか、アップルに返送してくださるだけでもかまいません。バッテリーは取り外されて、環境にやさしい方法でリサイクルされます。詳しくは、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment/recycling

環境向上への取り組み

アップルでは、事業活動および製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。

詳しくは、次の Web サイトを参照してください：
www.apple.com/jp/environment

J019-1342/2008-09